

田原市景観意識調査

平成 23 年 6 月
街づくり推進課

目 次

■ I 調査の概要

1 調査の概要	3
1-1 調査の目的	3
1-2 調査の設計	3
1-3 施策の満足度・重要度の点数化	4
1-4 景観の順位化	4
1-5 報告書の見方	4

■ II 田原市景観意識調査

1 回答者の属性	5
1-1 性別	5
1-2 年代	5
1-3 職種	5
1-4 居住地区	6
1-5 田原市での居住年数	6
2 景観への認識度について	7
2-1 景観について	7
2-2 景観法について	8
2-3 景観への関心について	9
2-4 景観の重要性について	10
3 田原市の景観について	11
3-1 田原市の景観の変化について	11
3-2 田原市の景観への愛着について	13
3-3 田原市の景観の満足度と変化について	15
3-4 田原市らしい景観について	17
3-5 田原市の景観を損ねているものについて	24
3-6 広告、看板について	29
3-7 不快と感じる広告、看板について	31
3-8 景観規制への意識について	33
4 美しい景観づくりへの関わり方について	35
4-1 まちづくりへの意識について	35
4-2 まちづくり参加の内容について	37
4-3 行政の取り組むべき内容について	39
5 好きな景観と嫌いな景観	41

■ I 調査の概要

1 調査の概要

1-1 調査の目的

田原市には豊かな自然や歴史資源、美しい生活空間や活力のある産業群などの地域資源が市内全域に幅広く分布しており、今後、これらを守り、育て、次世代につなげていくことが重要である。

本調査は、今後の田原市の景観施策を検討していくにあたり、まず、田原市民の景観に対する意識を把握することを目的とした調査である。

1-2 調査の設計

調査対象： 田原市に居住する満20歳以上の男女

標本数： 1,050 ※

調査方法： 郵送配布、郵送回収

調査時期： 平成22年11月22日～12月10日

有効回収数： 357件（有効回収率34.0%）

※標本数の決め方について

標本数を決定するための公式として、以下のものがある。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K(\alpha)}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

ただし、 α =母集団特性値の誤る確率（%）、 $100 - \alpha$ =信頼度（%）、

$K(\alpha)$ =正規分布の性質から与えられる値(信頼度95%の時、約1.96)、 N =母集団の大きさ、 n =必要とされる標本数、

P =母比率（%）、 ε =区間推定で標本特性値につけるプラスマイナスの幅。

今、回収率を50%と見込み、信頼度95%で±3%の幅で配布数を推定すると、母集団が56840人（2005年の国勢調査による15歳以上人口）であるから、

$$n = \frac{56840}{\left\{ \left(\frac{3}{1.96}\right)^2 \times \frac{56839}{50 \times 50} + 1 \right\}}$$

によって、 $n = 1047$ が求められる。

1-3 施策の満足度・重要度の点数化

満足度・重要度の平均ポイント

設問8の5段階評価に、下記のようなポイントをつけて、平均ポイントを算出し、分析を試みた。

満足度	重要度	ポイント
不満	大変悪くなった	-2点
やや不満	やや悪くなった	-1点
普通	どちらともいえない	±0点
やや満足	やや良くなった	+1点
満足	大変良くなった	+2点

<算出方法>

$$\frac{\text{「満足/良い」} \times (+2) + \text{「やや満足/やや良い」} \times (+1) + \text{「やや不満/やや悪い」} \times (-1) + \text{「不満/悪い」} \times (-2)}{\text{回答者数 (人)}} = \text{平均ポイント}$$

1人1項目あたりのポイント分析は、+2~-2の範囲となり、このポイントの全体平均を算出し、満足度、重要度評価の指標としている。

なお、平均ポイントは、+2に近いほど満足（重要）であることを表し、-2に近いほど不満（重要でない）を表している。

1-4 景観の順位化

設問9と設問10の順位評価には、第1位に3点、第2位に2点、第3位に1点を付けて点数化し、これらに各回答数を掛けることにより、回答があった全景観の順位化を試みた。

1-5 報告書の見方

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、合計が100%にならないこともあります。
- (2) 基数となるべき実数は、件数として掲載しました。したがって比率は、件数を100%として算出しています。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。このため、各項目の比率の合計は通常100%を超えます。
- (4) 各表の各欄の上段には回答実数を、下段にはパーセントを表しています。
- (5) 本報告書中の文章、表等の見出しの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

1 回答者の属性

1-1 性別

● 調査回答者の性別は、男性が 44.5%、女性が 54.9%となっており、女性が男性を 10 ポイント以上上回っている。

設問 1-1 あなたの性別、年齢、職業、お住まいの校区、居住年数について、それぞれ次の中から該当する番号に○をつけてください。

① 性別

	件数	%
全体	357	100.0
男性	159	44.5
女性	196	54.9
無回答	2	0.6

1-2 年代

● 調査回答者の年代を見ると、「70 歳代以上」が 22.7%で最も多く、次いで「60 歳代」が 21.6%となっており、「70 歳代以上」と「60 歳代」で全体の 4 割を占めている。

● 「70 歳代以上」を筆頭に年代が若くなるにつれてその割合は減少しており、20 歳代では 1 割となっている。

設問 1-2 あなたの性別、年齢、職業、お住まいの校区、居住年数について、それぞれ次の中から該当する番号に○をつけてください。

② 年齢

	件数	%
全体	357	100.0
20 歳代	29	8.1
30 歳代	49	13.7
40 歳代	52	14.6
50 歳代	69	19.3
60 歳代	77	21.6
70 歳代	81	22.7
無回答	0	0.0

1-3 職種

● 職種は、「会社員」が 20.2%で最も多く、次いで、「無職」(18.2%)、「農林漁業」(17.6%)、「主婦・主夫」(15.7%)が続いており、この 4 項目が 15%以上を越えている。なお、「無職」の割合が高い要因として、回答者の 4 割以上が 60 歳以上であることが考えられる。

設問 1-3 あなたの性別、年齢、職業、お住まいの校区、居住年数について、それぞれ次の中から該当する番号に○をつけてください。

③ 職種

	件数	%
全体	357	100.0
農林漁業	63	17.6
会社員	72	20.2
自営業	52	14.6
公務員	13	3.6
主婦・主夫	56	15.7

無職	65	18.2
その他	33	9.2
無回答	3	0.8

1-4 居住地区

● 校区は、「田原中部」が 12.0%で最も多く、次いで、「神戸」、「泉」、「中山」などが続き、「亀山」が 1.1%と最も少なくなっている。

設問 1-4 あなたの性別、年齢、職業、お住まいの校区、居住年数について、それぞれ次の中から該当する番号に○をつけてください。

④ 居住地区

	件数	%
全体	357	100.0
田原中部校区	43	12.0
神戸校区	32	9.0
泉校区	31	8.7
中山校区	29	8.1
童浦校区	28	7.8
福江校区	27	7.6
田原東部校区	27	7.6
衣笠校区	26	7.3
野田校区	16	4.5
堀切校区	13	3.6
清田校区	13	3.6
若戸校区	11	3.1
六連校区	10	2.8
赤羽根校区	10	2.8
高松校区	9	2.5
和地校区	8	2.2
大草校区	7	2.0
田原南部校区	6	1.7
伊良湖校区	6	1.7
亀山校区	4	1.1
無回答	1	0.3

1-5 田原市での居住年数

● 居住年数は、「30年以上」が 51.3%で最も多く、半数以上を占めている。これに次いで、「20年以上 30年未満」(18.5%)、「10年以上 20年未満」(12.3%)が続いている。

設問 1-5 あなたの性別、年齢、職業、お住まいの校区、居住年数について、それぞれ次の中から該当する番号に○をつけてください。

⑤ 居住年数

	件数	%
全体	357	100.0
2年未満	15	4.2
2年以上 5年未満	22	6.2
5年以上 10年未満	26	7.3
10年以上 20年未満	44	12.3
20年以上 30年未満	66	18.5
30年以上	183	51.3
無回答	1	0.3

2 景観への認識度について

2-1 景観について

- 「景観」という言葉を「少し知っている」が33.4%で最も多く、次いで、「よく知っている」(28.6%)、「聞いたことはある」(28.6%)が続いており、「景観」という言葉を認識している人(「よく知っている」、「少し知っている」)は、全体で約6割以上を占めている。
- 「景観」という言葉を認識している人は、男性が68.3%、女性が56.9%と、男性が女性を10ポイント以上上回っている。また、「聞いたことはある」は、男性(24.7%)よりも女性(31.8%)に多くなっている。

設問2 あなたは「景観」という言葉は知っていましたか。該当する項目を1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	よく知っている	少し知っている	聞いたことはある	初めて聞いた
合計	353 100.0	101 28.6	118 33.4	101 28.6	33 9.3
男性	158 100.0	53 33.5	55 34.8	39 24.7	11 7.0
女性	195 100.0	48 24.6	63 32.3	62 31.8	22 11.3

- 「景観」という言葉を認識している人は、60歳代が71.5%で最も多く、これを除けば、年齢が高い人ほど多く、若い人ほど少ない傾向にある。
- 「初めて聞いた」は年代問わず、それぞれ1割前後を占めている。

	合計	よく知っている	少し知っている	聞いたことはある	初めて聞いた
合計	355 100.0	102 28.7	118 33.2	101 28.5	34 9.6
20歳代	29 100.0	3 10.3	10 34.5	12 41.4	4 13.8
30歳代	48 100.0	7 14.6	16 33.3	19 39.6	6 12.5
40歳代	52 100.0	12 23.1	16 30.8	21 40.4	3 5.8
50歳代	68 100.0	20 29.4	24 35.3	17 25.0	7 10.3
60歳代	77 100.0	25 32.5	30 39.0	18 23.4	4 5.2
70歳以上	81 100.0	35 43.2	22 27.2	14 17.3	10 12.3

2-2 景観法について

● 「景観法」を「初めて聞いた」が65.6%と最も多く、「聞いたことはある」と回答する人は全体の2割以上を占めている。その一方で、「景観法」の概要を知る人(「よく知っている」、「少し知っている」)は1割程度にとどまっている。

● 「景観法」の概要を知る人は、男性が13.8%、女性が9.2%と男性が女性を若干上回っており、「聞いたことはある」は男性(28.9%)が女性(18.4%)を10ポイント以上上回っている。

設問3 平成16年に良好な景観の形成を目指す「景観法」が施行されました。あなたはこの法律の概要をご存知ですか。該当する項目を1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	よく知っている	少し知っている	聞いたことはある	初めて聞いた
合計	355 100.0	8 2.3	32 9.0	82 23.1	233 65.6
男性	159 100.0	3 1.9	19 11.9	46 28.9	91 57.2
女性	196 100.0	5 2.6	13 6.6	36 18.4	142 72.4

● 「景観法」の概要を「よく知っている」人は、50歳代以上にしかおらず、概要を知る人は、年齢が高い人ほど多く、若い人ほど少ない傾向にある。

	合計	よく知っている	少し知っている	聞いたことはある	初めて聞いた
合計	357 100.0	8 2.2	33 9.2	82 23.0	234 65.5
20歳代	29 100.0	—	1 3.4	3 10.3	25 86.2
30歳代	49 100.0	—	2 4.1	15 30.6	32 65.3
40歳代	52 100.0	—	2 4.1	8 15.4	42 80.8
50歳代	69 100.0	1 1.4	6 8.7	14 20.3	48 69.6
60歳代	77 100.0	3 3.9	10 13.0	20 26.0	44 57.1
70歳以上	81 100.0	4 4.9	12 14.8	22 27.2	43 53.1

2-3 景観への関心について

- 「景観」に対する関心について尋ねたところ、関心を持つ人（「関心がある」、「少し関心がある」）は、関心を持たない人（「あまり関心がない」、「関心がない」）の割合を約 50 ポイント上回っている。
- 関心を持つ人は、男性が 73.6%、女性が 64.8%と男性が女性を 10 ポイント程度上回っている。

設問4 あなたは「景観」に関心がありますか。該当する項目を1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない
合計	355 100.0	86 24.2	158 44.5	55 15.5	14 3.9	42 11.8
男性	159 100.0	49 30.8	68 42.8	22 13.8	5 3.1	15 9.4
女性	196 100.0	37 18.9	90 45.9	33 16.8	9 4.6	27 13.8

- すべての年代において、「景観」に関心を持つ人は約 5 割以上となっており、50 歳以上では 7 割以上の人に関心を持っている。他方で、関心を持たない人は、20 歳代、30 歳代に 3 割以上存在している。

	合計	関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない
合計	357 100.0	87 24.4	158 44.3	55 15.4	14 3.9	43 12.0
20 歳代	29 100.0	3 10.3	11 37.9	6 20.7	3 10.3	6 20.7
30 歳代	49 100.0	7 14.3	18 36.7	14 28.6	3 6.1	7 14.3
40 歳代	52 100.0	8 15.4	24 46.2	10 19.2	3 5.8	7 13.5
50 歳代	69 100.0	15 21.7	37 53.6	7 10.1	2 2.9	8 11.6
60 歳代	77 100.0	25 32.5	36 46.8	8 10.4	1 1.3	7 9.1
70 歳以上	81 100.0	29 35.8	32 39.5	10 12.3	2 2.5	8 9.9

2-4 景観の重要性について

- 今後のまちづくりにおける「景観」の重要性について尋ねたところ、重要と評価する人(「特に重要である」、「重要である」)は全体の8割以上を占めており、重要でないと評価する人(「あまり重要ではない」、「重要ではない」)を圧倒的に上回っている。
- 「景観」の重要性では、重要と評価する人は男性・女性ともに8割以上と差は見られない。

設問 5 あなたは、今後のまちづくりを進める中で、「景観」は重要だと思いますか。該当する項目を1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	特に重要である	重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
合計	355 100.0	35 9.9	250 70.4	17 4.8	4 1.1	49 13.8
男性	159 100.0	24 15.1	105 66.0	9 5.7	1 0.6	20 12.6
女性	196 100.0	11 5.6	145 74.0	8 4.1	3 1.5	29 14.8

- すべての年代において、「景観」を重要と評価する人はそれぞれ65%以上を占めている。
- 「わからない」と評価する人は、20歳代に3割以上存在する。

	合計	特に重要である	重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない
合計	357 100.0	35 9.8	251 70.3	17 4.8	4 1.1	50 14.0
20歳代	29 100.0	4 13.8	15 51.7	1 3.4	—	9 31.0
30歳代	49 100.0	6 12.2	34 69.4	1 2.0	2 4.1	6 12.2
40歳代	52 100.0	2 3.8	43 82.7	2 3.8	—	9.6 5
50歳代	69 100.0	5 7.2	50 72.5	3 4.3	—	11 15.9
60歳代	77 100.0	9 11.7	54 70.1	6 7.8	1 1.3	7 9.1
70歳以上	81 100.0	9 11.1	55 67.9	4 4.9	1 1.2	12 14.8

3 田原市の景観について

3-1 田原市の景観の変化について

- 田原市のまちなみや自然の風景を以前(10～15年ほど前)と比べると、良くなったと評価する人(「良くなった」、「少し良くなった」)は、悪くなったと評価する人(「少し悪くなった」、「悪くなった」)を約40ポイント上回っている。その一方で、「変わらない」と回答する人は、全体の2割弱を占めている。
- 良くなったと評価する人は、女性(59.3%)が男性(49.4%)を約10ポイント上回っている。その一方で、「変わらない」と評価する人は、女性(12.9%)よりも男性(22.8%)の方が多。

設問6 田原市のまちなみや自然の風景は、以前(10～15年ほど前)と比べてどうなったと感じますか。該当する項目を1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	悪くなった	わからない
合計	352 100.0	65 18.5	128 36.4	61 17.3	31 8.8	27 7.7	40 11.4
男性	158 100.0	20 12.7	58 36.7	36 22.8	15 9.5	15 9.5	14 8.9
女性	194 100.0	45 23.2	70 36.1	25 12.9	16 8.2	12 6.2	26 13.4

- 良くなったと評価する人は、70歳代以上では全体の7割以上を占めている一方で、20歳代では2割未満となっており、年齢が高い人ほど多く、若い人ほど少ない傾向にある。
- 悪くなったと評価する人は、50歳代で2割以上を占めている。

	合計	良くなった	少し良くなった	変わらない	少し悪くなった	悪くなった	わからない
合計	354 100.0	65 18.4	130 36.7	61 17.2	31 8.8	27 7.6	40 11.3
20歳代	29 100.0	3 10.3	2 6.9	9 31.0	2 6.9	2 6.9	11 37.9
30歳代	48 100.0	5 10.4	16 33.3	12 25.0	1 2.1	3 6.3	11 22.9
40歳代	51 100.0	8 15.7	20 39.2	8 15.7	5 9.8	4 7.8	6 11.8
50歳代	69 100.0	14 20.3	24 34.8	10 14.5	10 14.5	8 11.6	3 4.3
60歳代	76 100.0	18 23.7	28 36.8	14 18.4	6 7.9	7 9.2	3 3.9
70歳以上	81 100.0	17 21.0	40 49.4	8 9.9	7 8.6	3 3.7	6 7.4

- 「田原南部」の100.0%を筆頭に、「大草」等、11校区において、良くなったと評価する人の割合が田原市全体の結果よりも多くなっている。他方で、「伊良湖」、「堀切」では悪くなったと評価する人の割合が3割以上となっており、これらを含む10校区において、田原市全体の結果を上回っている。

	合計	良くなっ た	少し良く なった	変わらな い	少し悪く なった	悪くなっ た	わからな い
合計	353 100.0	64 18.1	130 36.8	61 17.3	31 8.8	27 7.6	40 11.3
六連校区	10 100.0	2 20.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	— —	1 10.0
神戸校区	32 100.0	5 15.6	15 46.9	3 9.4	3 9.4	3 9.4	3 9.4
大草校区	7 100.0	3 42.9	2 28.6	— —	1 14.3	1 14.3	— —
田原東部 校区	27 100.0	4 14.8	13 48.1	4 14.8	2 7.4	— —	4 14.8
田原南部 校区	6 100.0	— —	6 100.0	— —	— —	— —	— —
童浦校区	28 100.0	4 14.3	9 32.1	7 25.0	1 3.6	2 7.1	5 17.9
田原中部 校区	43 100.0	12 27.9	13 30.2	3 7.0	3 7.0	7 16.3	5 11.6
野田校区	16 100.0	6 37.5	4 25.0	3 18.8	2 12.5	— —	1 6.3
衣笠校区	25 100.0	4 16.0	11 44.0	6 24.0	— —	1 4.0	3 12.0
高松校区	9 100.0	1 11.1	3 33.3	3 33.3	1 11.1	1 11.1	— —
赤羽根 校区	10 100.0	3 30.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	— —
若戸校区	11 100.0	3 27.3	4 36.4	3 27.3	— —	1 9.1	— —
泉校区	31 100.0	5 16.1	12 38.7	8 25.8	3 9.7	— —	3 9.7
清田校区	13 100.0	— —	5 38.5	— —	1 7.7	2 15.4	5 38.5
福江校区	26 100.0	4 15.4	12 46.2	3 11.5	3 11.5	— —	4 15.4
中山校区	28 100.0	5 17.9	9 32.1	5 17.9	4 14.3	3 10.7	2 7.1
亀山校区	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	— —	— —	— —
伊良湖 校区	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	— —
堀切校区	13 100.0	— —	1 7.7	5 38.5	2 15.4	3 23.1	2 15.4
和地校区	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0

3-2 田原市の景観への愛着について

● 今の田原市の景観や風景・まちなみなどへの誇りや愛着を感じる人(「誇りや愛着を感じている」、「誇りや愛着を少し感じている／時々感じる」)は、全体の約7割を占める一方で、愛着を感じない人(「特に誇りや愛着を感じていない」)が2割以上存在している。

● 誇りや愛着を感じる人は、男性(61.7%)よりも女性(75.7%)の方が多い。他方で、誇りや愛着を感じない人は、男性(27.7%)が女性(17.1%)を10ポイント以上上回っている。

設問 7 今の田原市の景観や風景・まちなみなどに誇りや愛着を感じていますか。該当する項目を1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	誇りや愛着を感じている	誇りや愛着を少し感じている／時々感じる	特に誇りや愛着を感じていない	わからない
合計	352 100.0	71 20.2	173 49.1	77 21.9	31 8.8
男性	159 100.0	34 21.4	64 40.3	44 27.7	17 10.7
女性	193 100.0	37 19.2	109 56.5	33 17.1	14 7.3

● 誇りや愛着を感じる人は、50歳代以上は7割以上、20歳代～40歳代は5割以上となっている。他方で、誇りや愛着を感じない人は、20歳代～40歳代に約3割以上となっている。

	合計	誇りや愛着を感じている	誇りや愛着を少し感じている／時々感じる	特に誇りや愛着を感じていない	わからない
合計	354 100.0	72 20.3	173 48.9	78 22.0	31 8.8
20歳代	29 100.0	2 6.9	15 51.7	8 27.6	4 13.8
30歳代	48 100.0	6 12.5	19 39.6	17 35.4	6 12.5
40歳代	51 100.0	5 9.8	23 45.1	18 35.3	5 9.8
50歳代	69 100.0	14 20.3	39 56.5	11 15.9	5 7.2
60歳代	77 100.0	20 26.0	35 45.5	16 20.8	6 7.8
70歳以上	80 100.0	25 31.3	42 52.5	8 10.0	5 6.3

● 誇りや愛着を感じる人は、「伊良湖」の 100.0%を筆頭に、「田原南部」、「若戸」、「衣笠」が 8 割以上となっている。他方で、誇りや愛着を感じない人は、「六連」、「清田」、「中山」、「堀切」の 4 校区で 3 割以上となっており、田原市全体の結果を 10 ポイント以上上回っている。

	合計	誇りや愛着を感じている	誇りや愛着を少し感じてい る／時々感じる	特に誇りや愛着を感じていない	わからない
合計	353 100.0	72 20.4	172 48.7	78 22.1	31 8.8
六連校区	10 100.0	2 20.0	4 40.0	4 40.0	— —
神戸校区	32 100.0	5 15.6	18 56.3	6 18.8	3 9.4
大草校区	7 100.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3
田原東部校区	27 100.0	7 25.9	11 40.7	8 29.6	1 3.7
田原南部校区	6 100.0	2 33.3	3 50.0	— —	1 16.7
童浦校区	28 100.0	7 25.0	15 53.6	4 14.3	2 7.1
田原中部校区	43 100.0	11 25.6	21 48.8	10 23.3	1 2.3
野田校区	16 100.0	3 18.8	8 50.0	4 25.0	1 6.3
衣笠校区	25 100.0	4 16.0	16 64.0	3 12.0	2 8.0
高松校区	9 100.0	2 22.2	4 44.4	1 11.1	2 22.2
赤羽根校区	10 100.0	1 10.0	6 60.0	2 20.0	1 10.0
若戸校区	11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1	— —
泉校区	31 100.0	5 16.1	14 45.2	9 29.0	3 9.7
清田校区	13 100.0	3 23.1	4 30.8	5 38.5	1 7.7
福江校区	27 100.0	5 18.5	12 44.4	4 14.8	6 22.2
中山校区	27 100.0	2 7.4	14 51.9	9 33.3	2 7.4
亀山校区	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	— —
伊良湖校区	6 100.0	4 66.7	2 33.3	— —	— —
堀切校区	13 100.0	1 7.7	6 46.2	5 38.5	1 7.7
和地校区	8 100.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5

3-3 田原市の景観の満足度と変化について

● 景観を形成する項目に対する満足度(「満足」、「やや満足」)は、「C 河川の景観」が 26.0%で最も多く、これに次いで、「F 観光地の景観」(24.6%)、「B 海岸の景観」(24.1%)が続いており、以上の3項目が全体の2割以上を占めている。他方で、不満度(「やや不満」、「不満」)は、「O 身近な散歩道や歩行空間」が 54.6%で最も多く、「C 河川の景観」(18.8%)を除く、すべての項目が全体の約2割以上を占めている。なお、「C 河川の景観」を除く14項目において、不満度が満足度を上回っている。

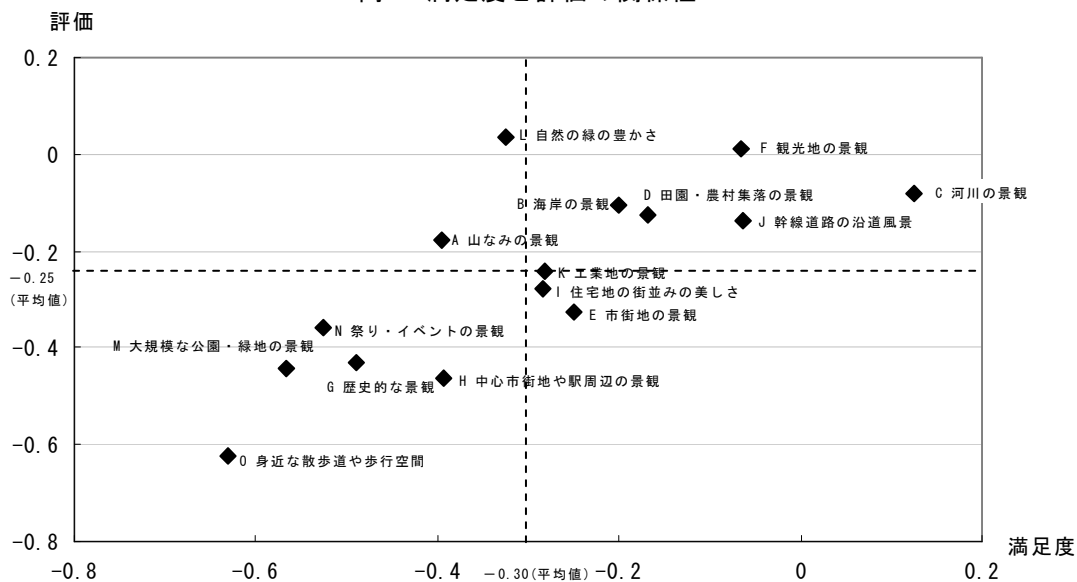
設問8 田原市の景観を形成している次の項目について、現状の満足度と以前(10~15年ほど前)に比べた評価について、それぞれあなたの気持ちに最も近い番号を次の中から1つ選び○をつけてください。

		現状の満足度							以前に比べた評価						
		全体	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	全体	大変良くなった	やや良くなった	どちらともいえない	やや悪くなった	大変悪くなった	無回答
A 山なみの景観 (蔵王山・衣笠山・大山 など)	件数	357	5	27	177	89	41	18	357	10	32	195	72	19	29
	%	100.0	1.4	7.6	49.6	24.9	11.5	5.0	100.0	2.8	9.0	54.6	20.2	5.3	8.1
B 海岸の景観 (太平洋、三河湾 など)	件数	357	15	71	118	105	32	16	357	16	64	136	95	18	28
	%	100.0	4.2	19.9	33.1	29.4	9.0	4.5	100.0	4.5	17.9	38.1	26.6	5.0	7.8
C 河川の景観 (汐川、免々田川 など)	件数	357	23	70	177	60	7	20	357	16	44	173	84	9	31
	%	100.0	6.4	19.6	49.6	16.8	2.0	5.6	100.0	4.5	12.3	48.5	23.5	2.5	8.7
D 田園・農村集落の景観 (大規模な農地、農業集落のまちなみ など)	件数	357	7	36	208	76	16	14	357	10	31	211	64	14	27
	%	100.0	2.0	10.1	58.3	21.3	4.5	3.9	100.0	2.8	8.7	59.1	17.9	3.9	7.6
E 市街地の景観 (田原・赤羽根・福江市街地)	件数	357	11	40	158	117	15	16	357	10	34	136	135	13	29
	%	100.0	3.1	11.2	44.3	32.8	4.2	4.5	100.0	2.8	9.5	38.1	37.8	3.6	8.1
F 観光地の景観 (伊良湖地区周辺 など)	件数	357	20	68	144	86	22	17	357	25	59	155	69	18	31
	%	100.0	5.6	19.0	40.3	24.1	6.2	4.8	100.0	7.0	16.5	43.4	19.3	5.0	8.7
G 歴史的な景観 (田原城跡・潮音寺 など)	件数	357	4	16	163	125	33	16	357	4	7	193	97	30	26
	%	100.0	1.1	4.5	45.7	35.0	9.2	4.5	100.0	1.1	2.0	54.1	27.2	8.4	7.3
H 中心市街地や駅周辺の景観	件数	357	13	25	130	127	25	37	357	9	24	119	127	29	49
	%	100.0	3.6	7.0	36.4	35.6	7.0	10.4	100.0	2.5	6.7	33.3	35.6	8.1	13.7
I 住宅地の街並みの美しさ (木綿台、光崎 など)	件数	357	4	14	203	87	13	36	357	2	13	201	82	10	49
	%	100.0	1.1	3.9	56.9	24.4	3.6	10.1	100.0	0.6	3.6	56.3	23.0	2.8	13.7
J 幹線道路の沿道風景 (国道42、259号線・県道・市道)	件数	357	13	52	171	83	8	30	357	12	39	170	87	10	39
	%	100.0	3.6	14.6	47.9	23.2	2.2	8.4	100.0	3.4	10.9	47.6	24.4	2.8	10.9
K 工業地の景観 (臨海部工業群 など)	件数	357	3	17	206	78	18	35	357	7	17	198	73	17	45
	%	100.0	0.8	4.8	57.7	21.8	5.0	9.8	100.0	2.0	4.8	55.5	20.4	4.8	12.6
L 自然の緑の豊かさ	件数	357	14	46	123	111	35	28	357	21	65	152	60	18	41
	%	100.0	3.9	12.9	34.5	31.1	9.8	7.8	100.0	5.9	18.2	42.6	16.8	5.0	11.5
M 大規模な公園・緑地の景観 (中央公園・白谷海浜公園 市街地内に残る緑 など)	件数	357	6	27	113	142	42	27	357	8	25	138	109	36	41
	%	100.0	1.7	7.6	31.7	39.8	11.8	7.6	100.0	2.2	7.0	38.7	30.5	10.1	11.5
N 祭り・イベントの景観 (田原まつり、トライアスロン など)	件数	357	10	19	131	126	43	28	357	14	19	154	109	27	34
	%	100.0	2.8	5.3	36.7	35.3	12.0	7.8	100.0	3.9	5.3	43.1	30.5	7.6	9.5
O 身近な散歩道や歩行空間 (はなとき通り など)	件数	357	9	15	111	149	46	27	357	8	10	121	135	45	38
	%	100.0	2.5	4.2	31.1	41.7	12.9	7.6	100.0	2.2	2.8	33.9	37.8	12.6	10.6

● 以前に比べた評価についてたずねたところ、「良くなった(「大変よくなった」、「やや良くなった」)」は「L 自然の緑の豊かさ」が 24.1%で最も多く、唯一、「悪くなった(「やや悪くなった」、「大変悪くなった」)」を上回っている。他方で、「悪くなった」は、「O 身近な散歩道や歩行空間」が 50.4%で最も多く、これに次いで、「H 中心市街地や駅周辺の景観」(43.7%)、「E 市街地の景観」(41.4%)、「M 大規模な公園・緑地の景観」(40.6%)が続いている。

● 満足度と評価の関係性をみると、景観を形成する 15 項目のうち、現状の満足度が平均値(-0.30)以下、以前に比べた評価が平均値(-0.25)以下の範囲に含まれる 5 項目が改善すべき課題にあたると思われる。

問8 満足度と評価の関係性



- G 歴史的な景観(田原城跡・潮音時 など)
- H 中心市街地や駅周辺の景観
- M 大規模な公園・緑地の景観(中央公園・白谷海浜公園・市街地に残る緑 など)
- N 祭り・イベントの景観(田原まつり、トライアスロンなど)
- O 身近な散歩道や歩行空間(はなとき通り など)

3-4 田原市らしい景観について

- 回答された景観は、自然的景観、歴史的景観、特定の場所・イベント、市街地・農村集落の景観、道路景観の5つに分類することができる。
- 分類別にみると、自然的景観が843ポイントで最も多く、他に比べて圧倒的に多い。個別の景観や場所では、伊良湖岬をみた風景やそこから見る風景が最も多く、蔵王山やそこから見る風景が続いている。また、キャベツ畑や電照菊などの農地が良いという意見がそれに続いている。
- 歴史的景観では、渡辺華山池ノ原幽居跡や華山会館を含む田原城の周辺が多く、大多数を占めている。
- 特定の場所・イベントではサンテパークが多く挙げられ、その他にも伊良湖ビューホテル、まつり・市内イベント、臨海部の工場群という意見が目立った。
- 市街地・農村集落の景観では中心市街地付近が多く、特に、はなとき通り、次いで田原駅が多かった。
- 道路景観では、沿道の花が良いという意見が多かった。また、道路周辺だけのことでなく、伊良湖への道のりや国道259号線や国道42号線から見る景色なども挙げられていた。

●下表の得点は、設問9の回答に対して、1位に3点、2位に2点、3位に1点を掛けて、総合点を算出したものである。

設問9 田原市において最も「田原市らしいと感じる景観」とは何だと思えますか。あなたが思うベスト3を下の欄に直接名称と理由を記入して下さい。

分類	順位	分類	得点
総合	1	自然的景観	843
	2	歴史的景観	172
	3	特定の場所・イベント	150
	4	市街地・農村集落の景観	135
	5	道路景観	30

分類	順位	景観	得点
自然的景観	1	伊良湖岬そのもの	135
	2	蔵王山から見る景色	99
	3	蔵王山そのもの	66
	4	恋路ヶ浜	62
	5	太平洋ロングビーチ	60
	6	伊良湖にあるもの	47
	7	海	42
	8	電照菊	35
	9	滝頭公園	34
	10	農地	33
	11	伊良湖岬からみた景色	28
	11	キャベツ畑	28
	13	白谷海浜公園	26
	14	菜の花	21
	15	表浜海岸	20
	16	蔵王山にあるもの	19
	17	温室	17
	18	日出の石門	12
	19	山・里山	9
	20	衣笠	7
	21	池ノ原公園	6
	21	緑が浜公園	6
	23	尾村山	5
	24	仁崎海水浴場	3
	24	片浜十三里	3
	24	藤七原緑地	3
	24	三河湾	3
	24	赤羽根文化広場	3
	24	太平洋が見える所	3
	30	免々田川	2
	30	三河湾に沈む夕日	2
	32	自然の緑の豊かさ	1
32	江比間と宇津江の間の桜	1	
32	滝頭の四季の風景	1	
32	馬草海岸付近から見る夕日	1	
合計			843

分類	順位	景観	得点
歴史的景観	1	田原城周辺	131
	2	博物館	19
	3	巴江神社	12
	4	城宝寺周辺	3
	4	歴史的景観	3
	5	椿公園周辺	2
	5	池ノ原	2
合計			172

分類	順位	景観	得点
特定の場所・イベント	1	サンテパーク	31
	2	ホテルからの眺め	28
	3	まつり・市内イベント	26
	4	臨海部(工場含む)	25
	5	風力発電の風車	8
	6	ロコステーション	7
	7	ぐるりんバス	6
	8	ホテルそのもの	3
	8	二・七の市	3
	8	六連から→高校へ抜ける両側	3
	11	めっくんはうす	2
	11	田原中部小学校。田原中学校のあたり。	2
	11	花火	2
	15	図書館	1
	15	夜景及び富士山の見える時	1
合計			150

前表の続き

分類	順位	景観	得点
市街地・農村集落の景観	1	はなとき通り	34
	2	駅	19
	3	赤羽根	11
	4	セントファール	6
	4	まつり会館	6
	4	赤羽根港	6
	4	宇津江	6
	8	赤石通り	5
	9	田原市街地	4
	9	藤七原	4
	11	市役所	3
	11	田原町	3
	11	渥美病院	3
	11	向山	3
	11	江比間	3
	11	夜道・夜の景色	3
	17	清谷地区	2
	17	渥美	2
	17	古田	2
	17	東山	2
	17	大山	2
	17	椀	2
	17	福江港	2
	24	中央公園	1
	24	田原全部	1
		合計	135

分類	順位	景観	得点
道路景観	1	沿道の花	7
	2	伊良湖岬への道のり	4
	2	江比間の旧道259号線	4
	4	国道42号線の日出の石門から坂を上がる時に見る海	3
	4	三河湾大橋	3
	4	つばき道路	3
	4	サイクリングロード	3
	8	福江のショッピングのレイの前国道259号線	2
	9	道のり	1
		合計	30

●以下では、設問9の具体的な回答内容とその理由を一覧する。

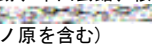
設問9 田原市において最も「田原らしいと感じる景観」とは何だと思いますか。あなたが思うベスト3を下の欄に直接名称と理由を記入して下さい。

合計のポイントについては、1位には3点、2位には2点、3位については1点を掛けて、和をとって算出している。

分類	田原らしい景観	1位	2位	3位	理由	合計	
自然的景観	伊良湖岬	景色	6	4	2	・夕日 ・志摩半島方面を望む景色	28
		伊良湖にあるもの	10	6	5	・灯台（半島の夜景を一望できる） ・フェリー ・山々 ・唯一の観光名所 ・船であるが国道であること ・ロマンチックで心が和む	47
		そのもの	34	13	7	・南国を感じる ・砂浜が美しい ・有名 ・サーフィンの世界大会が行われた ・半島の景観 ・ビューホテルから見る景観が良い ・自然の雄偉さを感じる ・夕日が美しい ・田原を代表する自然景観 ・歩きやすく整備されている ・青と緑のコントラスト ・名所 ・史跡の多い所 ・椰子の実の歌碑、杜国碑、芭蕉句碑、磯丸碑、温暖な気候 ・文学の香りもするし、鷹の渡りでも、貴重な所だから	135
		恋路ヶ浜	14	9	2	・石碑が海に映えてきれい ・ずっと続く砂浜に安心感を覚える	62
	蔵王山	蔵王山から見る景色	13	24	12	・田原市が一望できる ・旧田原の発展が分る ・見晴らしが良い ・三河湾全体が見える ・360°のパノラマ ・夜景がきれい ・紅葉がきれい ・良い天候の時の富士山	99
		蔵王山にあるもの	5	1	2	・春の桜 ・風車が遠くからでも目立つ ・目印になる ・心がなごむ ・展望台が田原のシンボル	19
		そのもの	12	10	10	・回りからきれいに観える ・四季の変化の美しさ ・田原市の中心部のどこからでも見ることができる ・田原のシンボル ・豊橋方面から帰ってきて蔵王山が見えると「ホッ」とする ・つい目が向く ・空気がおいしい	66
	農地	農地	7	1	10	・農業がさかんだから、大根のはさ掛け：冬の風物詩として印象的	33
		菜の花	2	5	5	・きれいに咲いているから ・毎年の楽しみ ・落ち着く ・心がなごむ ・季節が感じられる	21
		キャベツ畑	4	6	4	・好ましく誇りを感じる ・見渡す限りの畑に圧倒される ・ほのぼのとする ・荒れた所もなくすばらしく緑のジュータンがひかれている ・温暖な気候と温かい人がらをあらわしているような気がする	28
		電照菊	5	6	8	・全国の半数以上の生産高 ・点燈した夜の美しさ ・他にはあまり見ない ・ライトアップしているかのようにきれい ・幻想的	35
		温室	2	4	3	・田原市の名産 ・農業の景観 ・のどかなところ	17
	滝頭公園	4	7	8	・桜が良い ・静かで緑がいっぱい ・池を見ていると心が洗われる ・散歩コースの道に四季の木々が植えられ人とのコミュニケーションがとりやすい環境だから ・散策にちょうど良い ・スポーツ施設なども整っている ・大人も子供も楽しめる	34	
	池ノ原公園	2	0	0	・小さい頃から親しんできた場所なので ・外部からきた人にも喜んでもらえるように表と裏が出来てよかった ・紅葉が美しい。（昔の住居あとに工夫があるとよい）	6	
	緑が浜公園	0	2	2	・川と緑に囲まれたのんびりとした時間が取れる	6	
	山・里山	2	0	3	・特別なものはないが、それぞれ身近にあり、空気のように関わっている。それが良いです、大自然にめぐまれた土地。	9	
	海	8	8	2	好ましく誇りを感じる、有名、きれい、この大海原が遠く沖縄やアメリカに通じていると思うとワクワクする、大自然にめぐまれた土地、出先から戻ると潮の香りがして帰ってきたと実感する、広い太平洋の地平線を眺めながら波から出るマイナスイオンを浴びると最高	42	
	太平洋ロングビーチ	10	9	12	・道路駐車場整備 ・なだらかな浜で遊び等にも最適 ・海がきれい ・施設が整っている ・高台からみる景色はすばらしい ・全国有数のサーフィンポイント	60	
	仁崎海水浴場	0	1	1	海水がきれい	3	
	白谷海浜公園	4	4	6	・夏場の遊園地 ・運動競技 ・アサリ汐干狩り ・公園内の木々 ・花等が整然としている ・手入れも行き届き、きれい ・県道側より公園を背景に沈む夕日	26	
片浜十三里	1	0	0	表浜に連なる砂浜と崖の林とのコントラストが独特	3		
表浜海岸	3	5	1	・自然が残っている ・船で海に出ると大海原と半島の景色が美しい ・昔からの地引網等があり未来にも残していける ・海ガメが産卵に来たり、砂浜を守ろうと活動している	20		
日出の石門	3	1	1	・石門から東西を見ると心が大きくなる ・自然が作ったすばらしい奇岩	12		
藤七原湿地	1	0	0	・山から緑の景観が自然と調和している。	3		
衣笠山	2	0	1	・山なみ ・山と橋が一緒に見える地点がいい ・自然がたくさんあり、各シーズンとも気持ち良く散策できる	7		

前表の続き

自然的 景観	三河湾	1	0	0	・子供の頃から海を見たり夏になると空には入道雲を見て夏を感じていたから	3
	尾村山	1	1	0	・秋から冬にかけて富士山が見え海岸沿線の景観がとても良いと思います。夜は電照菊の明りがすてきに見えます	5
	免々田川	0	1	0	・シデコブシ群。ホテル	2
	赤羽根文化広場	1	0	0	・秋から冬にかけて富士山が見え海岸沿線の景観がとても良いと思います。夜は電照菊の明りがすてきに見えます	3
	自然の緑の豊かさ	0	0	1	・今ではすばらしい	1
	江比間と宇津江の間の桜	0	0	1	・とても美しく、山がうすピンクにかすむ	1
	滝頭の四季の風景	0	0	1	—	1
	太平洋が見える所	1	0	0	・青い海が見える	3
	馬草海岸付近から見る夕日	0	0	1	・夕日がとてもきれい	1
	三河湾に沈む夕日	0	1	0	・とにかく最高	2
合計						843

分類	田原らしい景観	1位	2位	3位	理由	合計	
歴史的 景観	田原城周 辺 	田原城周辺(渡辺 華山池ノ原幽居 跡、華山会館、桜 ノ原を含む)	34	10	9	・田原の歴史が良く分る ・周囲の建物や壁がマッチしている ・四季にお城・池・木々がマッチしている ・市民の心の故郷 ・小さな城下町の景観 ・気軽に立ち寄れる ・石畳がきれいで木におおわれ昔の自然が残されているから ・田原の歴史と自然と街なみが重なり合って美しい ・桜門、大銀杏 ・田原市の歴史・文化・芸術性を感じる建築、緑化にも配慮できている ・石垣・土塀 ・全国的に有名な渡辺先生は我等のほこり ・華山会館：地方の友達が遊びに来たら連れて行ってあげたいところ	131
		博物館	5	2	0	・田原の歴史が良く分る ・時代を感じる ・博物館から華山神社あたりの景観が良い ・緑があり静か	19
	榑公園周 辺	0	1	0	・旧武家屋敷があり小道など美しく落ち着く	2	
	巴江神社	2	3	0	・観光客等に喜ばれるようにきれいになった ・再現された様な造りが良い	12	
	城宝寺周 辺	1	0	0	・歴史を感じるから	3	
	池ノ原	0	1	0	・田原の歴史が良く分る	2	
	歴史的景 観	1	0	0	・田原市の歴史、文化、芸術性を感じる建築、緑化にも気配りが出来ているように思 う	3	
	合計						172

前表の続き

分類	田原らしい景観	1位	2位	3位	理由	合計	
特定の場所・イベント	伊良湖ビューホテル	ホテルからの眺め	5	3	9	・電照菊の夜景が良い ・表浜海岸・三河湾と中央に広がる農地と半島の山並み ・大浴場から見る景色 ・他所では見られない海と砂浜の心なごむ景色	30
		ホテルそのもの	1	0	0	・海・島・海岸・砂丘・農作物の緑が整っている所	3
	道の駅	ロコステーション	2	0	1	・海をいかした感じがよい	7
		めっくんはうす	0	1	0	・観光バスや一般の車などでいつもいっぱい	2
	サンテパルク	3	8	6	・子供と大人と一緒に楽しく過ごせる ・なぜか時々行きたいと思ったり動物とふれあう事がいやされます ・田原らしい施設だから ・イベントなど気軽に行ける ・野菜が安い バイクンがおいしい! ・季節問わずいつも花がある ・県内でもめずらしい体験型の農業公園。楽しく農業と触れ合ったり市民の憩いの場となっている。年間40万人以上が訪れる	31	
	図書館	0	0	1	・よく利用する	1	
	風力発電の風車	0	2	4	・迫力がある ・工業地帯や福江地区から見える ・自然との調和が取れていて良い ・風の強い土地をうまく利用してよい ・遠くから見る工場と風力発電との眺め	8	
	まつり・市内イベント	4	5	4	・年に一度の大イベント ・伝統の文化 ・活気がある ・昔からの伝統行事 ・花火も以前より華やかになって、自慢できる ・市民に一体観がある ・3台の”だし”を引き、”おはやし”と供に、巡行している様子。幼ない時とかわらないが、毎回心を洗ってくれ新鮮に見える	26	
	夜景及び富士山に見える時	0	0	1		1	
	ぐるりんバス	2	0	0	・田原市内を安い料金で巡回して病院、駅、買物の手助けをしてくれるから	6	
	二・七の市	0	1	1	・多くの皆さんとコミュニケーションが図られ、食に対するありがたさを教えられる ・地元の作物、野菜、果物、日常用品など安心、安全感のあるマーケットとして根付いている	3	
	田原中部小学校。田原中学校のあたり。	0	1	0	・風のない、陽光まぶしい日、当時の我が身と今の自分あまりにもかけはなれ当時の努力が全く実のらない。今からでも努力しようと思わせる景観	2	
	花火	0	0	2	・田原の花火が終わったら夏の終わりと感じる ・「田原っ子」として勇壮なイベント! 年々、大がかりになってきた	2	
	六連から→高校へ抜ける両側	1	0	0	①自然と思われる所が少しのこっている(野鳥等が少々居るなら良いと思うが) ②つくばの都市並みは又物に国が入っていますから一寸違いますが作られるものならあれ位のものが必要ではなからうかと思われます。	3	
	臨海部(工場含む)	3	4	8	・好ましく誇りを感じる ・有名 ・田原市を支える代名詞 ・夜景が意外ときれい ・近代的産業立地 ・トヨタの工場がある ・風力発電によるエコ ・工場と防風林とのマッチ ・遠くから見る工場と風力発電との眺め	25	
合計						150	

前表の続き

分類	田原らしい景観	1位	2位	3位	理由	合計	
市街地・農村集落の景観	中心市街地	駅	5	2	0	・きれいになった ・田原にふさわしい作りだから ・玄関口としての良さ ・建物	19
		セントファール	0	2	2	・イルミネーションがきれい	6
		はなとき通り	7	6	1	・イルミネーションがきれい ・全体の風景 ・活気がある ・イベントなど行事が多い ・四季にあわせて電灯やかざりがきれいで ・心がなごむ ・きれいで通りの人々が通りを大切にしている	34
		赤石通り	1	1	0	・活気がある ・緑が豊かで歩道も広く大変バランスがよい	5
		清谷地区	0	1	0	・シデコブシ群。ホテル	2
		まつり会館	2	0	0	・田原らしい ・山車などが展示してあるから	6
		市役所	0	1	1	・田原らしい	3
		中央広場	0	0	1	・イルミネーションがきれい	1
		渥美病院	0	1	1	・にぎやかでいい	3
		田原市街地	1	0	1	・灯が多くなった ・のんびりとビヨウブを建てた静かに延びた城下町。	4
	田原町	1	0	0	・静かに延びた城下町、	3	
	赤羽根	赤羽根	1	4	0	・この地区にしか観られない特有の風景 ・夜景に素晴らしくて感動する	11
		赤羽根港	1	0	3	・ロコステーションが出来た ・太平洋に面した観光	6
	渥美	0	1	0	・温室 ・潮音寺 ・夜景に素晴らしくて感動する	2	
	宇津江	1	1	1	・海岸がきれい ・国道259号線沿いの三河湾と松並木	6	
	古田	0	1	0	・もっと街灯を増やせばきれいになる	2	
	東山	0	1	0	・自宅近く	2	
	向山	1	0	0	・電照風景が幻想的である	3	
	江比間	1	0	0	・皆様良い人ばかりで楽しい生活が来ています	3	
	大山	0	1	0	・景色がきれい	2	
	椀	0	1	0	・シデコブシ群。ホテル	2	
	福江港	0	1	0	・正月には、大漁旗がならぶとてもよい場所で昔ながらの風景	2	
	藤七原	0	2	0	・山から緑の景観が自然と調和している ・シデコブシ群。ホテル	4	
	夜道・夜の景色	0	1	1	・ほとんど車がなく信号もまばらで地元っぽい	3	
	田原全部	0	0	1	・花	1	
合計						135	

分類	田原らしい景観	1位	2位	3位	理由	合計	
道路景観	国道259号線	伊良湖岬への道のり	0	2	0	・キャベツ畑が広がる風景	4
		江比間の旧道259号線	0	2	0	・松の間から見る海は変らない景色だか	4
		福江のショッピングのレイの前の国道259号	0	1	0	・灯が多くなった	2
	国道42号線	国道42号線の日出の石門から坂を上る時に見る海	1	0	0	・理由なんてない。好きだから。	3
	沿道の花	1	2	0	・心がなごむ ・特に春の菜の花が常春を感じさせる	7	
	三河港大橋	0	1	1	・橋を渡りながら蔵王山を見るのが好き	3	
	つばき道路	1	0	0	・自然	3	
	道のり	0	0	1		1	
	サイクリングロード	1	0	0	・海がきれい	3	
合計						30	

3-5 田原市の景観を損ねているものについて

- 回答された景観は、自然的景観、市街地・農村集落の景観、道路景観の3つに分類することができる。
- 分類別にみると、自然的景観では、海岸（全般）が52ポイントで最も多く、蔵王山や耕作放棄地・休耕地が33ポイントで続いている。
- 市街地・農村集落の景観では、駅・駅周辺（全般）が38ポイントで最も多く、廃墟となった空き家が16ポイント、空き店舗が14ポイントで続いている。
- 道路景観では道路（全般）が148ポイントで最も多く、全ての項目の中でも最大となっている。
- 損ねている理由について、自然的景観では、ゴミが目立つや削られた山肌、河川の汚さが多い。
- 損ねている理由について、市街地・農村集落の景観では、さびれている、まとまりがない、周辺との調和を乱している、ゴミが多い等が多い。また、個々の場所を示し、景観を損ねていると指摘する意見も多い。
- 損ねている理由について、道路景観では、沿道が雑草で荒れている、沿道の花壇が荒れている、ゴミが目立つ等が多い。

設問10 それでは逆に、田原市の景観を特に損ねていると感じられるものは何ですか。あなたが思う景観を下の欄に直接名称と理由を記入してください。

分類	順位	分類名	得点
総合	1	自然的景観	270
	2	市街地・農村集落の景観	226
	3	道路景観	174

分類	順位	場所	得点
自然的景観	1	海岸（全般）	52
	2	蔵王山	33
	3	耕作放棄地・休作地	33
	4	伊良湖	30
	5	汐川	29
	6	山（全般）	28
	7	畑（全般）	14
	8	表浜	13
	9	川（全般）	12
	10	枯れ木（全般）	11
	11	壊れたビニールハウス	5
	12	赤羽根	3
	13	片浜	3
	14	ロングビーチ	3
	15	白谷	1
	合計		270

分類	順位	場所	得点
道路景観	1	道路（全般）	148
	2	はなとき通り	10
	3	農道	9
	4	本町通り	5
	5	椿公園から池ノ原公園の道	2
	合計		174

分類	順位	場所	得点
市街地・農村集落の景観	1	駅・駅周辺（全般）	38
	2	廃虚となった空き家	16
	3	空き店舗	14
	4	駅前の工場	11
	5	セントファール	11
	6	風力発電（全般）	10
	7	電柱・電線	10
	8	浦地区	9
	9	野立て看板	8
	10	葬儀場	6
	11	中心市街地（全般）	6
	12	フェリー乗り場	5
	13	鉄塔	5
	14	田原市（全般）	5
	15	渥美（全般）	5
	16	立体駐車場	4
	17	バス停	4
	18	市役所	3
	19	仁崎のゴミ処理場	3
	20	吉胡貝塚シェルマよしご	3
	21	小公園	3
	22	池ノ原公園	3
	23	神明社周辺	3
	24	城宝寺周辺	3
	25	工場（全般）	3
	26	片浜の工場の空地	3
	27	緑ヶ浜	3
	28	江比巾伊川津	3
	29	六連	3
	30	西の浜	3
	31	自動販売機	3
	32	伊良湖の旧フラワーセンター	3
	33	観光地	3
	34	博物館	2
	35	警察署	2
	36	パチンコ屋	2
	37	赤羽根町（全般）	2
	38	赤羽根町（全般）	2
	39	ゴミステーション	1
	合計		226

●以下では、設問 10 の具体的な回答内容とその理由を一覧する。

設問10 それでは逆に、田原市の景観を特に損ねていると感じられるものは何ですか。あなたが思う景観を下の欄に直接名称と理由を記入してください。

合計のポイントについては、1位には3点、2位には2点、3位については1点を掛けて、和をとって算出している。

分類	場所	1位	2位	3位	理由	合計						
自然的景観	河川	汐川	7	4	0	汚い	29					
		川（全般）	1	4	1	ゴミが目立つ 汚い 堤防のコンクリート	12					
	山	山（全般）	8	2	0	採掘による山肌の露出 削られたもの ゴミが目立つ その他	28					
						蔵王山		8	4	1	ゴミが目立つ 風力発電 採掘による山肌の露出 削られたもの 暗い	33
		赤羽根	1	0	0		削られたもの				3	
		海岸	海岸（全般）	15	2	3	ゴミが目立つ 石が少なくなった 海の色が汚い	52				
	表浜						2		3	1	ゴミ 海岸線の侵食	13
											片浜	
	白谷		0	0	1	運動場がよけいである	1					
	ロングビーチ		1	0	0	特になし	3					
	畑・枯れ木		畑（全般）	4	1	0	堆肥の野積み等による悪臭 葉の散乱	14				
		耕作放棄地・休作地					5		8	2	景観を損ねている	33
		壊れたビニールハウス	0	1	3	景観を損ねている	5					
		枯れ木（全般）	3	1	0	景観を損ねている	11					
		伊良湖	8	3	0	景観を損ねている	30					
	合計						270					

前表の続き

分類	場所	1位	2位	3位	理由	合計	
市街地・農村集落の景観	公共施設	駅・駅周辺（全般）	12	1	0	さびれている、まとまりがない 放置自転車がが多く景観を損ねている	38
		博物館	0	1	0	まとまりがない	2
		立体駐車場	1	0	1	必要性が感じられない	4
		市役所	1	0	0	周辺との調和を乱している	3
		警察署	0	1	0	古い	2
		フェリー乗り場	1	1	0	さびれている	5
		バス停	1	0	1	汚れている	4
		仁崎のゴミ処理場	1	0	0	山の景観を損ねる	3
		ゴミステーション	0	0	1	景観を損ねている	1
		吉胡貝塚シェルマよしご	1	0	0	規模が小さい	3
		小公園	0	1	1	古汚れて景観を損ねている	3
		池ノ原公園	1	0	0	整備が行き届いていない	3
	寺社	神明社周辺	1	0	0	汚い	3
		城宝寺周辺	1	0	0	道が複雑	3
	工場	工場（全般）	1	0	0	景観を損ねている	3
		片浜の工場の空地	1	0	0	ムダを感じる	3
		駅前の工場	3	1	0	景観を損ねている 道路幅が狭く渋滞を引き起こしている	11
		浦地区	3	0	0	海が壊された 高い	9
		緑が浜	1	0	0	景観を損ねている	3
		江比間伊川津	1	0	0	景観を損ねている	3
	風力発電	風力発電（全般）	2	2	0	景観を損ねている	10
		六連	1	0	0	景観を損ねている	3
		西の浜	1	0	0	景観を損ねている	3
	設備	自動販売機	1	0	0	景観を損ねている	3
		野立て看板	0	3	2	景観を損ねている	8
		電柱・電線	3	0	1	景観を損ねている	10
		鉄塔	1	1	0	景観を損ねている	5
	その他建物	セントファール	3	1	0	威圧的、田原らしくない お金をかけた割に人が集まらない	11
		葬儀場	2	0	0	多い	6
		空き店舗	3	1	3	景観を損ねている	14
廃虚となった空き家		3	2	3	景観を損ねている	16	
伊良湖の旧フラワーセンター		1	0	0	そこだけ花があっても周辺になにもない	3	
パチンコ屋		0	1	0	良い気分がしない	2	

前表の続き

市街地・農村集落の景観	その他	田原市（全般）	1	1	0	ゴミが目立つ	5
						さびれている	
		中心市街地（全般）	2	0	0	さびれている	6
		赤羽根町（全般）	0	2	0	ゴミが目立つ	4
		渥美（全般）	1	1	0	さびれている	5
						ゴミが目立つ	
観光地	1	0	0	さびれている	3		
合計							226

分類	場所	1位	2位	3位	理由	合計
道路景観	道路（全般）	34	20	7	沿道が雑草で荒れている	149
					沿道の花壇が荒れている	
					白線が消えかかっている	
					ゴミが目立つ	
					ムダな工事	
					路上駐車	
					暗い	
					さびれている	
					道幅が狭い	
					海が見えない(国道42号線)	
樺公園から池ノ原公園の道	0	0	1	昔ながらの景観が損なわれてる	1	
農道	0	3	3	道路まで土や不要な葉っぱが散乱している	9	
本町通り	1	1	0	雑草がはびこっている、開発が中途半端	5	
はなとき通り	3	0	1	いまいち等	10	
合計						174

3-6 広告、看板について

● 広告、看板等を不快に感じたことが「ない」と回答する人が5割以上で最も多く、その一方で、不快に感じたことのある人(「よくある」、「時々ある」)は全体の4割以上を占めている。

● 日常生活の中で、広告、看板等を不快によく感じる人(「よくある」と回答した人)は、男性と女性に差はないものの、「よくある」及び「時々ある」と回答した人は、女性(39.4%)よりも男性(46.7%)に多い。

設問 11 あなたは、日常生活の中で、広告、看板等を不快に感じたことはありますか。該当する項目を1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	よくある	時々ある	ない(設問12へ)
合計	333 100.0	21 6.3	121 36.3	191 57.4
男性	150 100.0	9 6.0	61 40.7	80 53.3
女性	183 100.0	12 6.6	60 32.8	111 60.7

● 不快に感じたことのある人は、60歳代が52.7%で最も多く、次いで、50歳代、及び、70歳代以上が41.2%となっており、年齢が高い人ほど広告や看板等を問題視する人が多い。

	合計	よくある	時々ある	ない(設問12へ)
合計	335 100.0	21 6.3	121 36.1	193 57.6
20歳代	29 100.0	1 3.4	8 27.6	20 69.0
30歳代	49 100.0	4 8.2	18 36.7	27 55.1
40歳代	47 100.0	3 6.4	13 27.7	31 66.0
50歳代	68 100.0	4 5.9	24 35.3	40 58.8
60歳代	74 100.0	6 8.1	33 44.6	35 47.3
70歳以上	68 100.0	3 4.4	25 36.8	40 58.8

- 不快に感じたことのある人は、「赤羽根」、「若戸」に 6 割以上、「六連」、「田原南部」、「童浦」、「田原中部」に 5 割以上存在する。

	合計	よくある	時々ある	ない（設問 12 へ）
合計	334 100.0	21 6.3	120 35.9	193 57.8
六連校区	9 100.0	1 11.1	4 44.4	4 44.4
神戸校区	30 100.0	3 10.0	8 26.7	19 63.3
大草校区	7 100.0	1 14.3	2 28.6	4 57.1
田原東部校区	27 100.0	— —	10 37.0	17 63.0
田原南部校区	6 100.0	— —	3 50.0	3 50.0
童浦校区	26 100.0	3 11.5	11 42.3	12 46.2
田原中部校区	40 100.0	3 7.5	18 45.0	19 47.5
野田校区	16 100.0	1 6.3	5 31.3	10 62.5
衣笠校区	25 100.0	— —	9 36.0	16 64.0
高松校区	9 100.0	2 22.2	1 11.1	6 66.7
赤羽根校区	10 100.0	— —	6 60.0	4 40.0
若戸校区	9 100.0	— —	6 66.7	3 33.3
泉校区	27 100.0	1 3.7	11 40.7	15 55.6
清田校区	12 100.0	— —	4 33.3	8 66.7
福江校区	26 100.0	2 7.7	10 38.5	14 53.8
中山校区	25 100.0	2 8.0	7 28.0	16 64.0
亀山校区	4 100.0	— —	1 25.0	3 75.0
伊良湖校区	5 100.0	— —	1 20.0	4 80.0
堀切校区	13 100.0	1 7.7	1 7.7	11 84.6
和地校区	8 100.0	1 12.5	2 25.0	5 62.5

3-7 不快と感じる広告、看板について

- 「田園・自然地の野立て看板」(57.7%)や「道路沿いの広告看板」(52.1%)に不快さを感じたことのある人(「よくある」、「時々ある」)が多く存在しており、次に「道路等ののぼり旗」(28.9%)が続いている。
- 男女ともに5割以上の人、「田園・自然地の野立て看板」、「道路沿いの広告看板」に不快さを感じている。
- 市街地(まちなか)の看板に対して不快と感じる人の割合は、男性(20.0%)が女性(8.3%)を10ポイント以上上回っている。

設問 11-1 設問 11 で1または2とお答えした方にお伺いします。どのような広告・看板等を不快に感じたことがありますか。あてはまるものすべて選んで○をつけてください。(複数回答可)

	合計	道端等ののぼり旗	田園・自然地の野立て看板	交差点の案内看板	市街地(まちなか)の看板	道路沿いの広告看板	バスや自動販売機の広告	その他
合計	142 100.0	41 28.9	82 57.7	18 12.7	20 14.1	74 52.1	11 7.7	22 15.5
男性	70 100.0	19 27.1	40 57.1	11 15.7	14 20.0	35 50.0	8 11.4	12 17.1
女性	72 100.0	22 30.6	42 58.3	7 9.7	6 8.3	39 54.2	3 4.2	10 13.9

- すべての年代で、「田園・自然地の野立て看板」、「道路沿いの広告看板」が約4割以上となっている。また、50歳代以上では、「道路等ののぼり旗」に3割以上の人がか不快さを感じている。

	合計	道端等ののぼり旗	田園・自然地の野立て看板	交差点の案内看板	市街地(まちなか)の看板	道路沿いの広告看板	バスや自動販売機の広告	その他
合計	142 100.0	41 28.9	82 57.7	18 12.7	20 14.1	74 52.1	11 7.7	22 15.5
20歳代	9 100.0	—	7 77.8	—	1 11.1	5 55.6	—	1 11.1
30歳代	22 100.0	2 9.1	10 45.5	3 13.6	2 9.1	13 59.1	1 4.5	7 31.8
40歳代	16 100.0	3 18.8	10 62.5	—	1 6.3	8 50.0	1 6.3	3 18.8
50歳代	28 100.0	10 35.7	16 57.1	5 17.9	5 17.9	12 42.9	1 3.6	2 7.1
60歳代	39 100.0	14 35.9	25 64.1	3 7.7	7 17.9	26 66.7	5 12.8	4 10.3
70歳以上	28 100.0	12 42.9	14 50.0	7 25.0	4 14.3	10 35.7	3 10.7	5 17.9

● ほぼすべての校区において、「田園・自然地の野立て看板」、または、「道路沿いの広告看板」に不快さを感じる人が多くなっている。他方で、「泉」では「道路等ののぼり旗」に5割以上の人が不快さを感じている。なお、「亀山」では「バスや自動販売機の広告」が100.0%となっているが、同校区の回答者はたった1人であった。

	合計	道端等ののぼり旗	田園・自然地の野立て看板	交差点の案内看板	市街地(まちなか)の看板	道路沿いの広告看板	バスや自動販売機の広告	その他
合計	141 100.0	40 28.4	82 58.2	18 12.8	20 14.2	74 52.5	10 7.1	22 15.6
六連校区	5 100.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	— —	2 40.0	— —	1 20.0
神戸校区	11 100.0	2 18.2	8 72.7	2 18.2	2 18.2	7 63.6	1 9.1	3 27.3
大草校区	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	— —	— —
田原東部校区	10 100.0	2 20.0	4 40.0	1 10.0	1 10.0	7 70.0	— —	2 20.0
田原南部校区	3 100.0	— —	1 33.3	— —	— —	— —	— —	2 66.7
童浦校区	14 100.0	3 21.4	7 50.0	3 21.4	3 21.4	7 50.0	— —	3 21.4
田原中部校区	21 100.0	4 19.0	14 66.7	2 9.5	3 14.3	15 71.4	1 4.8	3 14.3
野田校区	6 100.0	3 50.0	4 66.7	— —	1 16.7	3 50.0	— —	1 16.7
衣笠校区	9 100.0	5 55.6	7 77.8	1 11.1	2 22.2	5 55.6	1 11.1	1 11.1
高松校区	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	— —	2 66.7	— —	— —
赤羽根校区	6 100.0	2 33.3	5 83.3	3 50.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	— —
若戸校区	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	— —	— —
泉校区	12 100.0	6 50.0	5 41.7	— —	— —	3 25.0	2 16.7	2 16.7
清田校区	4 100.0	1 25.0	2 50.0	— —	— —	2 50.0	1 25.0	1 25.0
福江校区	12 100.0	3 25.0	10 83.3	1 8.3	3 25.0	5 41.7	2 16.7	— —
中山校区	9 100.0	4 44.4	3 33.3	— —	2 22.2	6 66.7	— —	1 11.1
亀山校区	1 100.0	— —	— —	— —	— —	— —	1 100.0	— —
伊良湖校区	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —	1 100.0	— —	— —
堀切校区	2 100.0	— —	1 50.0	— —	— —	— —	— —	1 50.0
和地校区	3 100.0	— —	2 66.7	— —	— —	1 33.3	— —	1 33.3

3-8 景観規制への意識について

● 家や看板を建てる際に受け入れられる規制は、「看板の高さや大きさ」が53.9%で最も多く、これに加え、「建物の高さや大きさ」(32.6%)、「道路から離す」(29.2%)、「敷地や建物の緑化」(25.7%)、「看板の色」(24.8%)、及び、「看板のデザイン」(23.2%)が全体の2割以上を占めている。他方で、「受け入れられない」は全体の1割強となっている。

● 「看板の高さや大きさ」が男女ともに5割以上となっている。これを除くと、男性は「看板の色」、「建物の高さや大きさ」(共に28.7%)、「敷地や建物の緑化」(28.0%)、「道路から離す」(26.6%)、「看板のデザイン」(24.5%)、「建物の色」(21.0%)の6項目が、女性は「建物の高さや大きさ」(35.8%)、「道路から離す」(31.3%)、「敷地や建物の緑化」(23.9%)、「看板のデザイン」(22.2%)、「看板の色」(21.6%)の5項目が全体の2割以上を占めている。

設問12 あなたは、ご自分の家や看板を建てる時に規制がかかるとしたら、どのようなことでしたら受け入れられますか。あてはまるものすべて選んで○をつけてください。(複数回答可)

	合計	敷地や建物の緑化	建物の高さや大きさ	建物のデザイン	建物の色	建物の素材	看板の高さや大きさ	看板のデザイン	看板の色	看板の素材	塀の高さ・色・素材	道路から離す	受け入れられない	その他
合計	319 100.0	82 25.7	104 32.6	47 14.7	59 18.5	29 9.1	172 53.9	74 23.2	79 24.8	47 14.7	60 18.8	93 29.2	40 12.5	14 4.4
男性	143 100.0	40 28.0	41 28.7	23 16.1	30 21.0	16 11.2	74 51.7	35 24.5	41 28.7	21 14.7	28 19.6	38 26.6	18 12.6	7 4.9
女性	176 100.0	42 23.9	63 35.8	24 13.6	29 16.5	13 7.4	98 55.7	39 22.2	38 21.6	26 14.8	32 18.2	55 31.3	22 12.5	7 4.0

● すべての年代において、「看板の高さや大きさ」が約5割以上で最も多い。これに加え、50歳代の「建物の高さや大きさ」、及び、70歳代以上の「道路から離す」が4割以上となっている。

	合計	敷地や建物の緑化	建物の高さや大きさ	建物のデザイン	建物の色	建物の素材	看板の高さや大きさ	看板のデザイン	看板の色	看板の素材	塀の高さ・色・素材	道路から離す	受け入れられない	その他
合計	321 100.0	82 25.5	104 32.4	47 14.6	59 18.4	29 9.0	173 53.9	74 23.1	80 24.9	47 14.6	60 18.7	93 29.0	41 12.8	14 4.4
20歳代	29 100.0	6 20.7	9 31.0	8 27.6	4 13.8	5 17.2	14 48.3	7 24.1	3 10.3	6 20.7	4 13.8	10 34.5	8 27.6	—
30歳代	46 100.0	12 26.1	16 34.8	6 13.0	8 17.4	6 13.0	23 50.0	11 23.9	14 30.4	7 15.2	8 17.4	13 28.3	3 6.5	5 10.9
40歳代	50 100.0	11 22.0	15 30.0	4 8.0	9 18.0	2 4.0	33 66.0	19 38.0	15 30.0	8 16.0	9 18.0	10 20.0	5 10.0	3 6.0
50歳代	61 100.0	20 32.8	25 41.0	11 18.0	15 24.6	8 13.1	34 55.7	18 29.5	21 34.4	14 23.0	14 23.0	14 23.0	6 9.8	2 3.3
60歳代	69 100.0	16 23.2	15 21.7	11 15.9	18 26.1	2 2.9	36 52.2	10 14.5	20 29.0	15 21.7	15 21.7	19 27.5	9 13.0	2 2.9
70歳以上	66 100.0	17 25.8	24 36.4	7 10.6	5 7.6	6 9.1	33 50.0	9 13.6	7 10.6	10 15.2	10 15.2	27 40.9	10 15.2	2 3.0

● 「田原南部」、「赤羽根」、「和地」を除く、すべての校区において、「看板の高さや大きさ」が最も多くなっている。「田原南部」では「敷地や建物の緑化」が40.0%で最も多く、「赤羽根」では「道路から離す」が44.4%で最も多くなっている。また「和地」では「受け入れられない」が57.1%となっている。なお、「受け入れられない」は、「田原南部」、「田原中部」、「野田」、「高松」、「和地」で2割以上となっている。

	合計	敷地や 建物の 緑化	建物の 高さや 大きさ	建物の デザイ ン	建物の 色	建物の 素材	看板の 高さや 大きさ	看板の デザイ ン	看板の 色	看板の 素材	塀の高 さ・ 色・素 材	道路か ら離す	受け入 れられ ない	その他
合計	320 100.0	81 25.3	104 32.5	47 14.7	59 18.4	29 9.1	172 53.8	74 23.1	80 25.0	47 14.7	60 18.8	92 28.8	41 12.8	14 4.4
六連校区	10 100.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	5 50.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0
神戸校区	30 100.0	7 23.3	6 20.0	7 23.3	9 30.0	3 10.0	10 33.3	9 30.0	8 26.7	8 26.7	6 20.0	4 13.3	3 10.0	3 10.0
大草校区	5 100.0	— —	2 40.0	— —	2 40.0	— —	5 100.0	1 20.0	2 40.0	— —	— —	— —	— —	— —
田原東部 校区	25 100.0	9 36.0	10 40.0	7 28.0	6 24.0	4 16.0	16 64.0	7 28.0	11 44.0	5 20.0	3 12.0	8 32.0	2 8.0	2 8.0
田原南部 校区	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	— —	1 20.0	1 20.0	1 20.0	— —	1 20.0	1 20.0	1 20.0	— —
童浦校区	26 100.0	8 30.8	8 30.8	2 7.7	3 11.5	3 11.5	15 57.7	5 19.2	3 11.5	3 11.5	5 19.2	11 42.3	3 11.5	1 3.8
田原中部 校区	40 100.0	13 32.5	18 45.0	6 15.0	6 15.0	5 12.5	25 62.5	10 25.0	10 25.0	7 17.5	11 27.5	16 40.0	8 20.0	2 5.0
野田校区	13 100.0	3 23.1	5 38.5	3 23.1	4 30.8	2 15.4	10 76.9	4 30.8	5 38.5	2 15.4	5 38.5	4 30.8	3 23.1	— —
衣笠校区	23 100.0	6 26.1	9 39.1	3 13.0	5 21.7	2 8.7	13 56.5	5 21.7	7 30.4	3 13.0	3 13.0	2 8.7	2 8.7	2 8.7
高松校区	9 100.0	2 22.2	3 33.3	1 11.1	— —	— —	3 33.3	2 22.2	1 11.1	1 11.1	— —	1 11.1	3 33.3	— —
赤羽根 校区	9 100.0	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1	2 22.2	2 22.2	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	4 44.4	1 11.1	— —
若戸校区	10 100.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	— —	7 70.0	4 40.0	— —	— —	1 10.0	3 30.0	1 10.0	— —
泉校区	26 100.0	7 26.9	13 50.0	3 11.5	6 23.1	2 7.7	13 50.0	9 34.6	7 26.9	4 15.4	8 30.8	8 30.8	3 11.5	1 3.8
清田校区	11 100.0	2 18.2	1 9.1	— —	3 27.3	— —	7 63.6	1 9.1	3 27.3	1 9.1	3 27.3	3 27.3	1 9.1	— —
福江校区	25 100.0	5 20.0	10 40.0	3 12.0	3 12.0	2 8.0	14 56.0	4 16.0	5 20.0	4 16.0	2 8.0	8 32.0	— —	1 4.0
中山校区	25 100.0	5 20.0	4 16.0	5 20.0	5 20.0	1 4.0	14 56.0	1 4.0	6 24.0	3 12.0	2 8.0	8 32.0	4 16.0	— —
亀山校区	4 100.0	1 25.0	1 25.0	— —	— —	— —	3 75.0	— —	1 25.0	— —	1 25.0	1 25.0	— —	— —
伊良湖 校区	5 100.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	4 80.0	— —	— —
堀切校区	12 100.0	1 8.3	4 33.3	— —	— —	1 8.3	6 50.0	2 16.7	3 25.0	3 25.0	2 16.7	3 25.0	1 8.3	1 8.3
和地校区	7 100.0	2 28.6	1 14.3	— —	— —	— —	1 14.3	— —	1 14.3	— —	2 28.6	— —	4 57.1	— —

4 美しい景観づくりへの関わり方について

4-1 まちづくりへの意識について

- まちづくりへの関わりについてたずねたところ、「積極的に参加したい」は全体のたった3.3%にすぎず、残りの9割以上の人には、「関心はあるが参加は難しい」(51.6%)、「時間等の都合がつけば参加したい」(34.0%)など、まちづくりへの参加に対する積極的な意向が見られない。
- 「積極的に参加したい」人は、男女ともに1割未満であり、女性にいたってはたった1.6%しかいない。また、「関心はあるが参加は難しい」と回答した人は、男性(45.7%)よりも女性(56.5%)に多い。

設問13 美しいまちづくりのために、あなたは今後どのように関わっていきたくですか。次の(1~5)の中から、1つ選んでお答えください。該当する項目1つだけ選んで○をつけてください。

	合計	積極的に参加したい	時間等の都合がつけば参加したい	関心はあるが参加は難しい	参加したくない	その他
合計	335 100.0	11 3.3	114 34.0	173 51.6	32 9.6	5 1.5
男性	151 100.0	8 5.3	55 36.4	69 45.7	15 9.9	4 2.6
女性	184 100.0	3 1.6	59 32.1	104 56.5	17 9.2	1 0.5

- 「積極的に参加したい」は、20歳代、40歳代には全くなく、他の年代でも30歳代で8.3%ある程度で非常に少ない。「時間等の都合がつけば参加したい」は、各年齢層共、2~4割程度の回答がある。

	合計	積極的に参加したい	時間等の都合がつけば参加したい	関心はあるが参加は難しい	参加したくない	その他
合計	337 100.0	11 3.3	115 34.1	174 51.6	32 9.5	5 1.5
20歳代	29 100.0	—	9 31.0	14 48.3	6 20.7	—
30歳代	48 100.0	4 8.3	17 35.4	21 43.8	6 12.5	—
40歳代	50 100.0	—	16 32.0	24 48.0	6 12.0	4 8.0
50歳代	67 100.0	2 3.0	27 40.3	35 52.2	3 4.5	—
60歳代	74 100.0	2 2.7	30 40.5	32 43.2	9 12.2	1 1.4
70歳以上	69 100.0	3 4.3	16 23.2	48 69.6	2 2.9	—

● 「田原南部」、「赤羽根」「亀山」、「和地」において、「積極的に参加したい」が1割以上となっているものの、他の16校区では、8割以上の人にまちづくりへの参加に積極的な意向は見られない。しかし、「時間等の都合がつけば参加したい」には、「大草」の50.0%を筆頭に、8校区で田原市全体の結果を上回っている。

	合計	積極的に参加したい	時間等の都合がつけば参加したい	関心はあるが参加は難しい	参加したくない	その他
合計	336 100.0	11 3.3	114 33.9	174 51.8	32 9.5	5 1.5
六連校区	10 100.0	—	2 20.0	7 70.0	1 10.0	—
神戸校区	31 100.0	2 6.5	12 38.7	14 45.2	2 6.5	1 3.2
大草校区	6 100.0	—	3 50.0	3 50.0	—	—
田原東部校区	25 100.0	1 4.0	7 28.0	15 60.0	2 8.0	—
田原南部校区	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	—	—
童浦校区	27 100.0	1 3.7	9 33.3	14 51.9	3 11.1	—
田原中部校区	41 100.0	3 7.3	13 31.7	18 43.9	5 12.2	2 4.9
野田校区	14 100.0	—	6 42.9	6 42.9	2 14.3	—
衣笠校区	24 100.0	—	7 29.2	16 66.7	1 4.2	—
高松校区	8 100.0	—	3 37.5	4 50.0	1 12.5	—
赤羽根校区	10 100.0	1 10.0	2 20.0	7 70.0	—	—
若戸校区	10 100.0	—	2 20.0	7 70.0	1 10.0	—
泉校区	29 100.0	—	10 34.5	16 55.2	2 6.9	1 3.4
清田校区	13 100.0	—	5 38.5	6 46.2	2 15.4	—
福江校区	27 100.0	—	13 48.1	11 40.7	3 11.1	—
中山校区	29 100.0	—	11 37.9	16 55.2	2 6.9	—
亀山校区	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	—
伊良湖校区	6 100.0	—	2 33.3	4 66.7	—	—
堀切校区	10 100.0	—	2 20.0	4 40.0	3 30.0	1 10.0
和地校区	7 100.0	1 14.3	3 42.9	2 28.6	1 14.3	—

4-2 まちづくり参加の内容について

● 美しいまちづくりのために「落書きやごみのポイ捨てなどをなくす」を実行することができる人が、全体の約8割を占めており(82.0%)、これに次いで、「自宅の生垣、庭先、ベランダの緑や花を増やす」(59.2%)、「道路やゴミ置場など美化清掃活動を行う」(42.0%)、「地域の自治会等で花いっぱい運動や町の清掃活動などを行う」(41.1%)が続いており、全体の約4割以上となっている。

● 男女の意向に大きな差は見られない。

● 男性は、「落書きやごみのポイ捨てなどをなくす」(77.2%)が最も多く、次いで、「自宅の生垣、庭先、ベランダの緑や花を増やす」(55.7%)、「道路やゴミ置場など美化清掃活動を行う」(43.6%)が続いており、女性はこれらに加え、「地域の自治会等で花いっぱい運動や町の清掃活動などを行う」(42.9%)が4割以上となっている。なお、女性の「落書きやごみのポイ捨てなどをなくす」は全体の8割以上を占めている。

設問 14 美しいまちづくりのためには、あなたはどのようなことであれば実行できると思いますか。あてはまるものすべて選んで○をつけてください。(複数回答可)

	合計	自宅の生垣、庭先、ベランダの緑や花を増やす	落書きやポイ捨てをなくす	地域の自治会等で花いっぱい運動や町の清掃活動を行う	道路やゴミ置場など美化清掃活動を行う	まなべ通近を歩いたり、ちんぼんを歩く	市の歴史や観光地を訪ねる	主権や源流をたどる	地域の歴史や観光地を訪ねる	住民に協力を求める	公共施設や公園の整備	施設や公園の整備	建物や緑の整備	景観の整備	つくすやなどを関心する	その他
合計	338	200	277	139	142	74	38	37	37	18	43	18	18	11	11	3.3
	100.0	59.2	82.0	41.1	42.0	21.9	11.2	10.9	10.9	5.3	12.7	5.3	5.3	3.3	3.3	
男性	149	83	115	58	65	31	21	15	15	11	22	5	9	9	9	6.0
	100.0	55.7	77.2	38.9	43.6	20.8	14.1	10.1	10.1	7.4	14.8	3.4	6.0	6.0	6.0	
女性	189	117	162	81	77	43	17	22	22	7	21	13	2	2	2	1.1
	100.0	61.9	85.7	42.9	40.7	22.8	9.0	11.6	11.6	3.7	11.1	6.9	1.1	1.1	1.1	

● すべての年代で、「落書きやごみのポイ捨てなどをなくす」が7割以上で最も多くなっている。また、「自宅の生垣、庭先、ベランダの緑や花を増やす」では、30歳代、40歳代を除いた年代で5割以上となっている。

	合計	自宅の生垣、庭先、ベランダの緑や花を増やす	落書きやポイ捨てをなくす	地域の自治会等で花いっぱい運動や町の清掃活動を行う	道路やゴミ置場など美化清掃活動を行う	まなべ通近を歩いたり、ちんぼんを歩く	市の歴史や観光地を訪ねる	主権や源流をたどる	地域の歴史や観光地を訪ねる	住民に協力を求める	公共施設や公園の整備	施設や公園の整備	建物や緑の整備	景観の整備	つくすやなどを関心する	その他
合計	340	201	279	139	143	74	38	37	37	18	43	18	11	11	3.2	3.2
	100.0	59.1	82.1	40.9	42.1	21.8	11.2	10.9	10.9	5.3	12.6	5.3	3.2	3.2	3.2	
20歳代	28	14	27	9	11	4	2	4	4	1	5	3	—	—	—	—
	100.0	50.0	96.4	32.1	39.3	14.3	7.1	14.3	14.3	3.6	17.9	10.7	—	—	—	—
30歳代	47	22	38	23	22	13	4	4	4	5	8	2	2	2	2	2
	100.0	46.8	80.9	48.9	46.8	27.7	8.5	8.5	8.5	10.6	17.0	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
40歳代	50	20	45	18	20	8	2	2	2	—	2	4	2	2	2	2
	100.0	40.0	90.0	36.0	40.0	16.0	4.0	4.0	4.0	—	4.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0
50歳代	64	46	53	29	28	19	6	8	8	6	12	3	1	1	1	1
	100.0	71.9	82.8	45.3	43.8	29.7	9.4	12.5	12.5	9.4	18.8	4.7	1.6	1.6	1.6	1.6
60歳代	76	55	60	23	36	19	12	10	10	6	11	3	3	3	3	3
	100.0	72.4	78.9	30.3	47.4	25.0	15.8	13.2	13.2	7.9	14.5	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
70歳以上	75	44	56	37	26	11	12	9	9	—	5	3	3	3	3	3
	100.0	58.7	74.7	49.3	34.7	14.7	16.0	12.0	12.0	—	6.7	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

● 「高松」、「亀山」を除く 18 校区において、「落書きやごみのポイ捨てなどをなくす」が最も多く、すべて 6 割以上を占めている。なお、「高松」では「自宅の生垣、庭先、ベランダの緑や花を増やす」(87.5%)が、「亀山」では「地域の自治会等で花いっぱいの運動や町の清掃活動などを行う」(100.0%)が最も多くなっている。

	合計	自宅の生垣、庭先、ベランダの緑や花を増やす	落書きやごみのポイ捨てなどをなくす	地域の自治会等で花いっぱいの運動や町の清掃活動などを行う	道路やゴミ置場など美化清掃活動を行う	まち歩きなどのイベントを通じて身近な景観を知る	市が主催する緑化の推進や歴史資源などの景観づくり活動に参加する	地域の住民とともに景観に関する約束事や協定などのルールづくりや運営に参加する	公共施設のデザイン提案、案内板や道路整備などの検討の場に参加する	建物のデザイン・色彩の周辺への配慮	景観づくりに関する基金や団体に寄付をする	その他
合計	339 100.0	200 59.0	278 82.0	138 40.7	142 41.9	74 21.8	38 11.2	37 10.9	18 5.3	43 12.7	18 5.3	11 3.2
六連校区	9 100.0	6 66.7	8 88.9	2 22.2	6 66.7	3 33.3	3 33.3	—	—	1 11.1	1 11.1	—
神戸校区	32 100.0	16 50.0	25 78.1	11 34.4	14 43.8	5 15.6	4 12.5	3 9.4	2 6.3	7 21.9	—	2 6.3
大草校区	6 100.0	4 66.7	4 66.7	4 66.7	3 50.0	—	1 16.7	—	—	2 33.3	—	—
田原東部校区	27 100.0	19 70.4	23 85.2	8 29.6	11 40.7	11 40.7	3 11.1	4 14.8	—	3 11.1	2 7.4	2 7.4
田原南部校区	5 100.0	4 80.0	5 100.0	4 80.0	4 80.0	1 20.0	—	1 20.0	—	—	—	—
童浦校区	27 100.0	18 66.7	25 92.6	14 51.9	13 48.1	5 18.5	4 14.8	3 11.1	1 3.7	2 7.4	4 14.8	2 7.4
田原中部校区	41 100.0	25 61.0	32 78.0	16 39.0	17 41.5	12 29.3	5 12.2	4 9.8	3 7.3	8 19.5	—	1 2.4
野田校区	15 100.0	9 60.0	10 66.7	7 46.7	6 40.0	2 13.3	4 26.7	3 20.0	2 13.3	2 13.3	1 6.7	—
衣笠校区	24 100.0	16 66.7	22 91.7	12 50.0	11 45.8	7 29.2	1 4.2	3 12.5	—	4 16.7	—	—
高松校区	8 100.0	7 87.5	5 62.5	4 50.0	4 50.0	1 12.5	—	2 25.0	1 12.5	1 12.5	—	—
赤羽根校区	10 100.0	5 50.0	10 100.0	5 50.0	5 50.0	2 20.0	—	—	—	—	—	—
若戸校区	9 100.0	6 66.7	9 100.0	3 33.3	4 44.4	2 22.2	1 11.1	1 11.1	—	2 22.2	1 11.1	—
泉校区	30 100.0	13 43.3	26 86.7	11 36.7	12 40.0	3 10.0	1 3.3	1 3.3	2 6.7	2 6.7	1 3.3	—
清田校区	12 100.0	6 50.0	10 83.3	5 41.7	5 41.7	2 16.7	1 8.3	—	—	—	1 8.3	1 8.3
福江校区	27 100.0	18 66.7	23 85.2	10 37.0	7 25.9	7 25.9	4 14.8	3 11.1	3 11.1	5 18.5	—	—
中山校区	29 100.0	14 48.3	21 72.4	9 31.0	12 41.4	3 10.3	3 10.3	5 17.2	1 3.4	2 6.9	1 3.4	1 3.4
亀山校区	4 100.0	1 25.0	3 75.0	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	—	—	—	—
伊良湖校区	5 100.0	4 80.0	4 80.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	—	—	1 20.0	1 20.0	2 40.0	—
堀切校区	12 100.0	8 66.7	8 66.7	3 25.0	1 8.3	2 16.7	—	2 16.7	—	—	4 33.3	2 16.7
和地校区	7 100.0	1 14.3	5 71.4	4 57.1	3 42.9	3 42.9	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	—	—

4-3 行政の取り組むべき内容について

- 行政が取り組んでいくべきことは、「景観づくりの目標や指針を明らかにする」(64.3%)が最も多く、これに加え、「市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる」(43.5%)、「公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける」(39.0%)が全体の3割以上となっている。
- 男女ともに、「景観づくりの目標や指針を明らかにする」が6割以上となっており、最も多くなっている。
- 「景観づくりの目標や指針を明らかにする」を除くと、男性は、「市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる」(45.7%)が最も多く、これに次いで、「公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける」(37.7%)、「条例等による規制」(37.0%)が続いている。女性は、「市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる」、「公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける」がともに4割以上となっており、「良好な景観づくりの活動に対する補助などの金銭的支援を行う」にも3割以上の回答が得られた。

設問 15 田原市の景観を守り、良くしていくため、行政が取り組んでいくべきことは何だと思われますか。次の中から、最大5つ選んでお答えください。

	合計	景観づくりの目標や指針を明らかにする	公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける	条例等による規制	市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる	景観づくりのリーダーとなる人材を育てる	建物や広場・看板の形態や色彩等について拘束力のあるルールを設ける	良好な景観づくり活動に対する補助金などの金銭的支援を行う	良好な景観づくり活動に対する専門家の技術的支援を行う	良好な景観づくり活動を進めるための必要となる情報や資料のまとめ・提供を行う	良好な景観づくり活動の積極的なPR	シンポジウム・講演会・研修会など、良好な景観づくりを学ぶ機会を設ける	学校教育の場において、良好な景観づくりの啓発のための授業などを導入する	都市景観賞など表彰制度の実施	自治会やNPOの活動への支援	その他
合計	308	198	120	79	134	79	80	88	36	39	74	21	80	18	57	3
	100.0	64.3	39.0	25.6	43.5	25.6	26.0	28.6	11.7	12.7	24.0	6.8	26.0	5.8	18.5	1.0
男性	138	88	52	51	63	30	37	31	14	18	24	14	37	9	26	3
	100.0	63.8	37.7	37.0	45.7	21.7	26.8	22.5	10.1	13.0	17.4	10.1	26.8	6.5	18.8	2.2
女性	170	110	68	28	71	49	43	57	22	21	50	7	43	9	31	-
	100.0	64.7	40.0	16.5	41.8	28.8	25.3	33.5	12.9	12.4	29.4	4.1	25.3	5.3	18.2	-

- すべての年代において、「景観づくりの目標や指針を明らかにする」が約6割以上で最も多い。また、「市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる」ではどの年代も約4割以上となっている。
- 「公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける」では、60歳代が50.7%で多くなっており、また、「学校教育の場において、良好な景観づくりの啓発のための授業などを導入する」では20歳代が40.7%と、他の年代に比べて顕著な結果が見られる。

	合計	景観づくりの目標や指針を明らかにする	公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける	条例等による規制	市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる	景観づくりのリーダーとなる人材を育てる	建物や広場・看板の形態や色彩等について拘束力のあるルールを設ける	良好な景観づくりに対する補助などの金銭的支援を行う	良好な景観づくりに対する専門家などの技術的支援を行う	良好な景観づくりを進めると必要な情報や資料の提供を行う	良好な景観づくりの積極的なPR	シンポジウム・講演会など、良好な景観づくりを学ぶ機会を設ける	学校教育の場において、良好な景観づくりの啓発のための授業などを導入する	都市景観や表彰制度の実施	自治会やNPOの活動への支援	その他
合計	309 100.0	199 64.4	120 38.8	80 25.9	135 43.7	79 25.6	81 26.2	89 28.8	36 11.7	39 12.6	74 23.9	21 6.8	80 25.9	18 5.8	57 18.4	3 1.0
20歳代	27 100.0	19 70.4	8 29.6	8 29.6	11 40.7	4 14.8	7 25.9	9 33.3	3 11.1	1 3.7	8 29.6	-	11 40.7	1 3.7	3 11.1	-
30歳代	47 100.0	27 57.4	15 31.9	12 25.5	21 44.7	6 12.8	12 25.5	14 29.8	11 23.4	5 10.6	12 25.5	4 8.5	12 25.5	2 4.3	5 10.6	1 2.1
40歳代	49 100.0	33 67.3	13 26.5	10 20.4	18 36.7	4 8.2	8 16.3	12 24.5	8 16.3	7 14.3	11 22.4	3 6.1	14 28.6	3 6.1	9 18.4	1 2.0
50歳代	61 100.0	41 67.2	24 39.3	10 16.4	25 41.0	21 34.4	16 26.2	20 32.8	9 14.8	8 13.1	16 26.2	1 1.6	15 24.6	5 8.2	16 26.2	1 1.6
60歳代	73 100.0	48 65.8	37 50.7	22 30.1	36 49.3	23 31.5	26 35.6	18 24.7	4 5.5	9 12.3	17 23.3	7 9.6	18 24.7	6 8.2	14 19.2	-
70歳以上	52 100.0	31 59.6	23 44.2	18 34.6	24 46.2	21 40.4	12 23.1	16 30.8	1 1.9	9 17.3	10 19.2	6 11.5	10 19.2	1 1.9	10 19.2	-

● 「田原南部」、「若戸」、「亀山」、「和地」を除く 16 校区において、「景観づくりの目標や指針を明らかにする」が最も多く、5 割以上を占めている。なお、「田原南部」、「若戸」では「公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける」(田原南部：80.0%、若戸：55.6%)が、「亀山」では「良好な景観づくりの活動に対する補助などの金銭的支援を行う」(66.7%)が、「和地」では「市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる」(87.5%)が最も多くなっている。

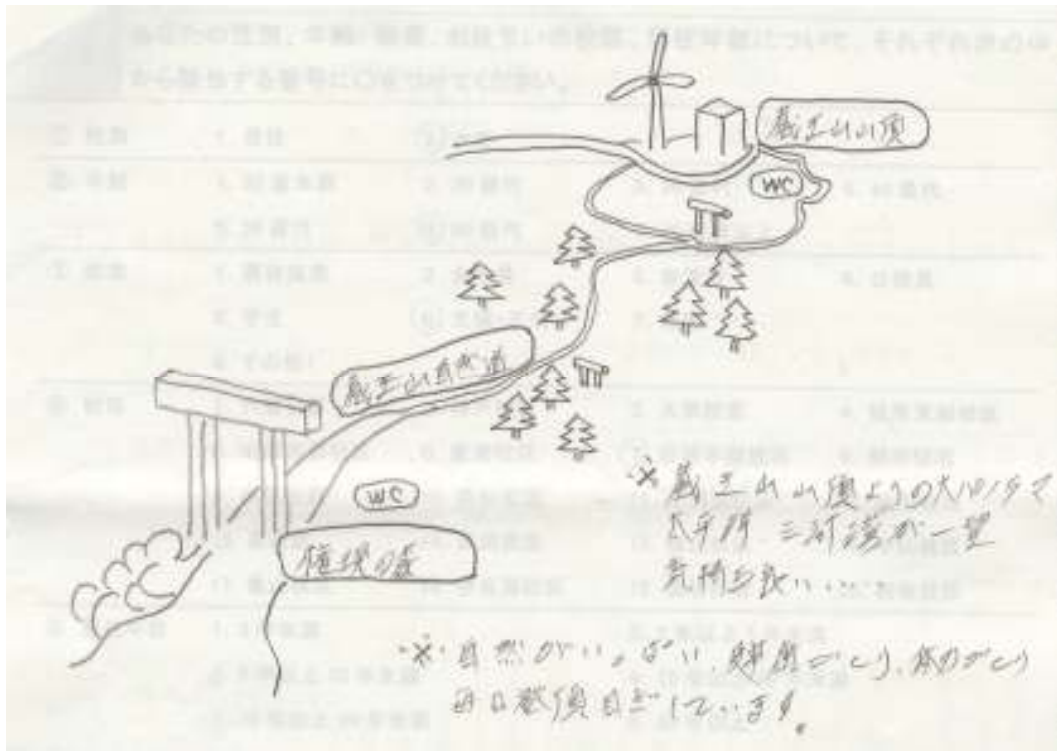
	合計	景観づくりの目標や指針を明らかにする	公共事業の実施に対する景観への配慮を行うための体制・ガイドラインを設ける	条例等による規制	市民の景観づくりを支援する仕組み、制度をつくる	景観づくりのリーダーとなる人材を育てる	建物や広場・看板の形態や色彩等について拘束力のあるルールを設ける	良好な景観づくりに対する補助などの金銭的支援を行う	良好な景観づくりに対する専門家などの技術的支援を行う	良好な景観づくりを進めると必要な情報や資料の提供を行う	良好な景観づくりの積極的なPR	シンポジウム・講演会など、良好な景観づくりを学ぶ機会を設ける	学校教育の場において、良好な景観づくりの啓発のための授業などを導入する	都市景観や表彰制度の実施	自治会やNPOの活動への支援	その他
合計	308 100.0	198 64.3	119 38.6	80 26.0	134 43.5	78 25.3	81 26.3	88 28.6	36 11.7	39 12.7	74 24.0	21 6.8	80 26.0	18 5.8	57 18.5	3 1.0
六連校区	8 100.0	5 62.5	3 37.5	2 25.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	5 62.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	-	2 25.0	-
神戸校区	29 100.0	19 65.5	11 37.9	5 17.2	9 31.0	6 20.7	10 34.5	4 13.8	4 13.8	5 17.2	7 24.1	3 10.3	10 34.5	1 3.4	2 6.9	1 3.4
大草校区	6 100.0	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 83.3	5 33.3	2 33.3	2 33.3	-	2 33.3	1 16.7	-	1 16.7	-	2 33.3	-
田原東部校区	23 100.0	14 60.9	8 34.8	9 39.1	14 60.9	6 26.1	4 17.4	4 17.4	4 17.4	2 8.7	4 17.4	2 8.7	8 34.8	4 17.4	2 8.7	-
田原南部校区	5 100.0	2 40.0	4 80.0	-	3 60.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-
童浦校区	25 100.0	16 64.0	12 48.0	5 20.0	10 40.0	8 32.0	9 36.0	7 28.0	5 20.0	2 8.0	6 24.0	2 8.0	5 20.0	4 16.0	3 12.0	-
田原中部校区	35 100.0	28 80.0	18 51.4	13 37.1	20 57.1	11 31.4	8 22.9	8 22.9	7 20.0	5 14.3	6 17.1	3 8.6	9 25.7	1 2.9	6 17.1	-
野田校区	12 100.0	8 66.7	3 25.0	3 25.0	3 25.0	2 16.7	5 41.7	5 41.7	-	1 8.3	2 16.7	-	4 33.3	1 8.3	1 8.3	-
衣笠校区	23 100.0	17 73.9	11 47.8	10 43.5	8 34.8	6 26.1	6 26.1	9 39.1	-	2 8.7	10 43.5	3 13.0	7 30.4	1 4.3	4 17.4	-
高松校区	8 100.0	7 87.5	3 37.5	2 25.0	3 37.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	-	-	3 37.5	1 12.5	2 25.0	-
赤羽根校区	7 100.0	6 85.7	3 42.9	-	1 14.3	1 14.3	1 14.3	-	-	2 28.6	3 42.9	1 14.3	1 14.3	-	-	1 14.3
若戸校区	9 100.0	4 44.4	5 55.6	3 33.3	4 44.4	-	2 22.2	2 22.2	-	-	5 55.6	-	2 22.2	1 11.1	3 33.3	-
泉校区	28 100.0	17 60.7	10 35.7	4 14.3	14 50.0	8 28.6	7 25.0	8 28.6	1 3.6	6 21.4	10 35.7	1 3.6	3 10.7	-	5 17.9	-
清田校区	13 100.0	9 69.2	4 30.8	4 30.8	5 38.5	3 23.1	3 23.1	4 30.8	-	1 7.7	2 15.4	1 7.7	3 23.1	-	2 15.4	-
福江校区	25 100.0	14 56.0	7 28.0	5 20.0	11 44.0	9 36.0	9 36.0	9 36.0	4 16.0	1 4.0	3 12.0	-	7 28.0	1 4.0	7 28.0	-
中山校区	25 100.0	11 44.0	9 36.0	8 32.0	8 32.0	5 20.0	4 16.0	6 24.0	5 20.0	3 12.0	5 20.0	1 4.0	6 24.0	3 12.0	7 28.0	-
亀山校区	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-
伊良湖校区	5 100.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	-	3 60.0	-	-	2 40.0	1 20.0	1 20.0	-	4 80.0	-
堀切校区	11 100.0	6 54.5	1 9.1	-	2 18.2	3 27.3	1 9.1	5 45.5	1 9.1	-	3 27.3	1 9.1	5 45.5	-	4 36.4	-
和地校区	8 100.0	4 50.0	2 25.0	2 25.0	7 87.5	2 25.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5	2 25.0	3 37.5	-	1 12.5	-	2 25.0	1 12.5

5 好きな景観と嫌いな景観

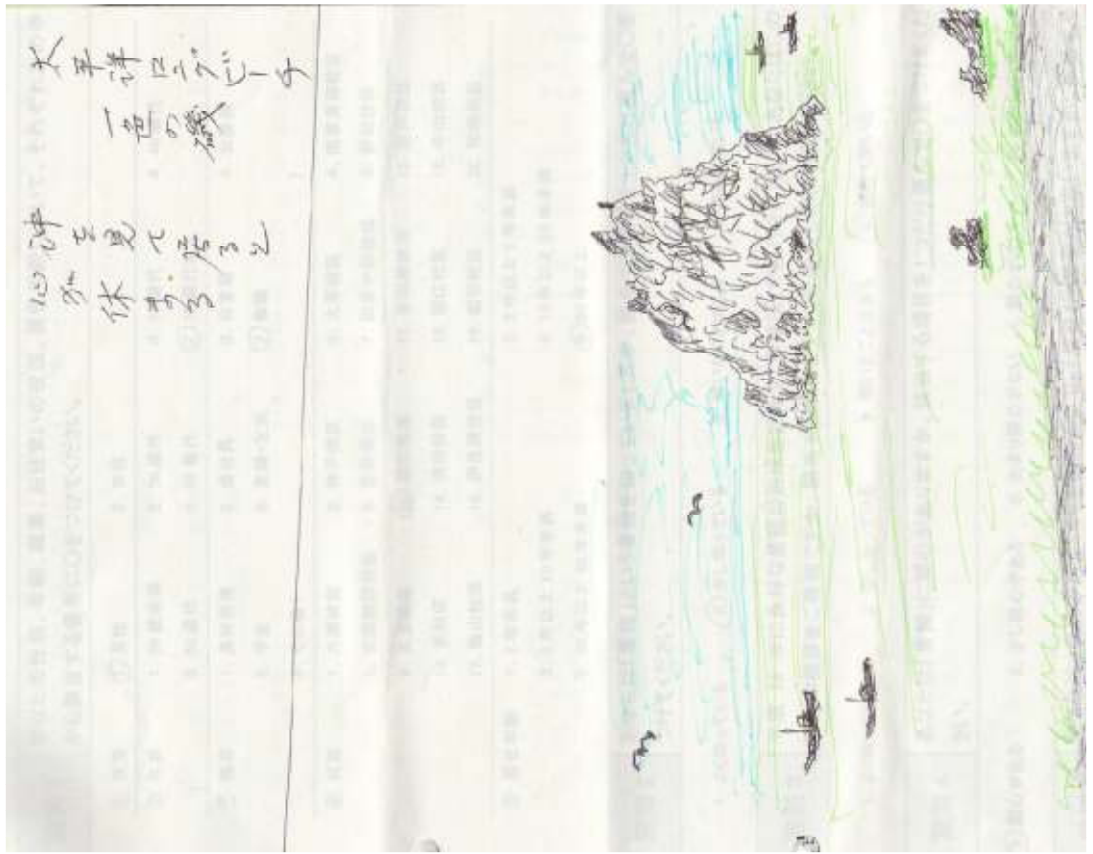
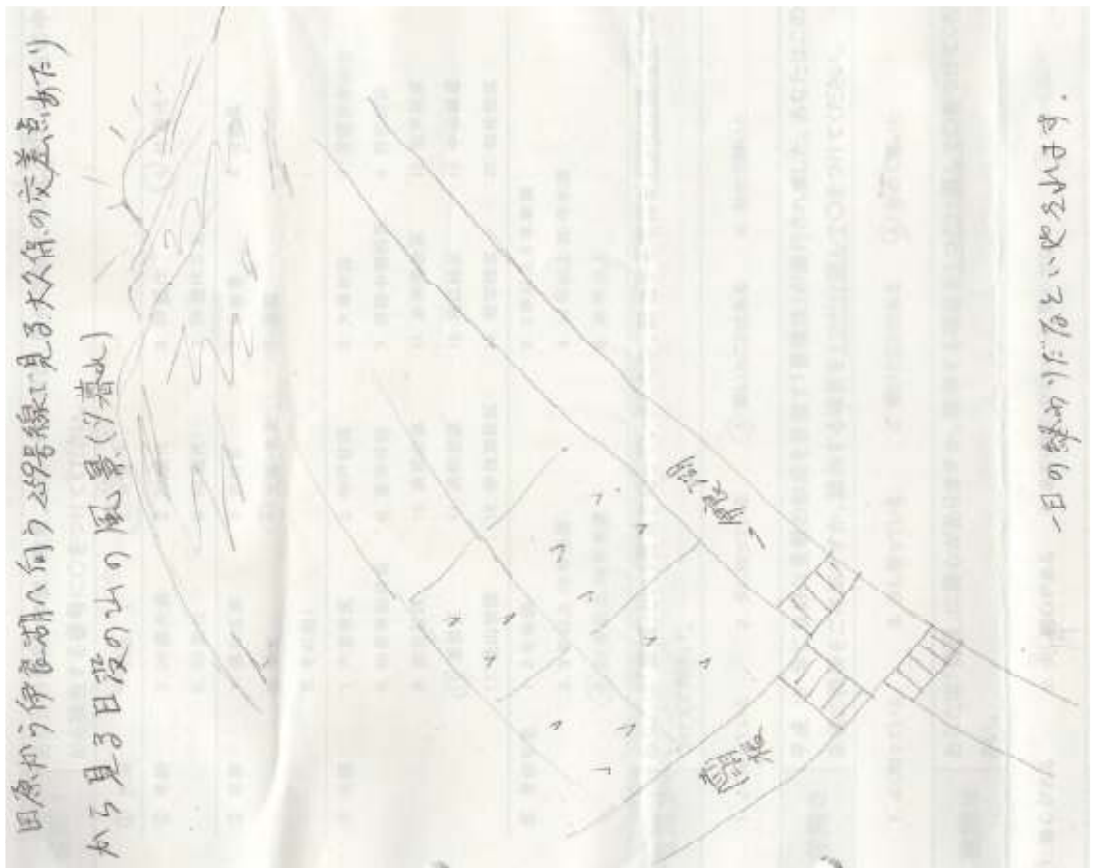
以下では、市民から回答のあった好きな景観（設問 9）と嫌いな景観（設問 10）の各々について、具体的なスケッチや写真を一覧する。

● 好きな景観

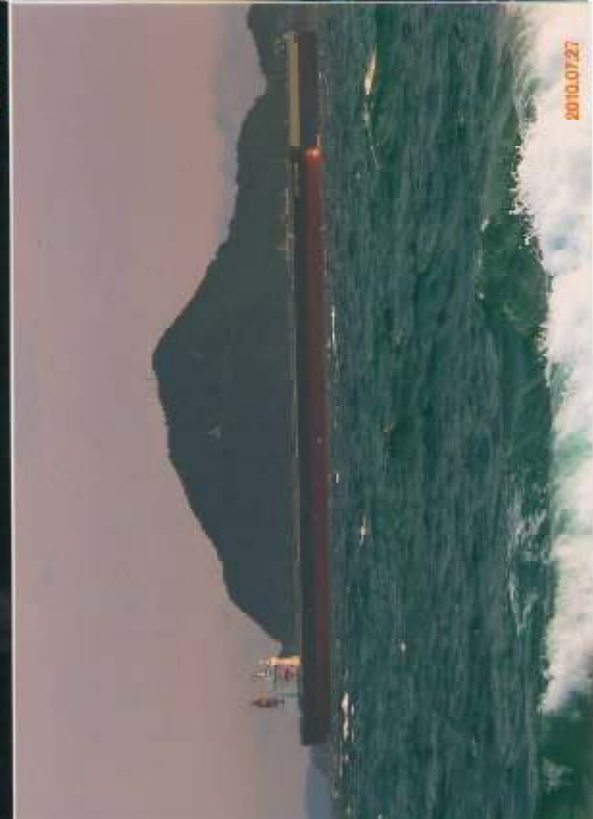












● 嫌いな景観



田原市景観意識調査

2011年6月発行

発行 田原市

〒441-3492

愛知県田原市田原町南番場 30 番地 1

都市建設部 街づくり推進課

計画・区画整理グループ

電話 0531-23-3523

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>
